Produced to assure your safety.

ASSURA®

AR-740ST Ⓐ

セパレート型 GPS レーダー探知機
取扱説明書

※本書は、資源有効活用を目的として、環境に配慮した大豆油インクを使用しております。

ご購入のお客様へ

この度は、弊社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。
なお、お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。
速度の出しすぎに注意して走行してください。
また、緊急車両が接近した場合には速やかに道をお譲りください。

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害､財産への損害を未然に防止するため､必ずお守りいただくことを､次のように説明していきます。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を､次の表示で区分し､説明しています。

表示	内容
⚠ 危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害※の発生の可能性が想定される」内容です。　※物的損害とは､車両･家屋･家財等に関わる拡大損害を示します。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	内容
❗	この表示は､必ず実行していただく「強制」の内容です｡具体的な強制内容は､近くに文章で示します。
⊘	この表示は､してはいけない「禁止」の内容です｡具体的な禁止内容は､近くに文章で示します。
⚠	この表示は､気をつけていただきたい「注意」の内容です｡具体的な注意内容は､近くに文章で示します。

⚠ 危 険

絵表示	内容
❗	本製品はDC12V/DC24V 兼用です｡他の電圧での使用は故障の原因になりますので､絶対におやめください。
❗	走行中に本製品の操作や画面の注視をしないでください｡※交通事故の原因となります。
❗	万一､故障した場合は直ちに使用を中止してください｡※そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。
⊘	医療用電気機器の近くでは使用しないでください｡※ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。
⊘	水につけたり､水をかけたり､又､ぬれた手では絶対に操作しないでください。※火災や感電､故障の原因となります。
⊘	煙が出ている､変な臭いがするなど異常な状態のままでは使用しないでください。※発火して火災の原因となります。

⚠ 警 告

絵表示	内容
❗	運転や視界の妨げにならない場所､又は自動車の機能（ブレーキ､ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。※誤った取り付けは交通事故の原因となります。
⊘	エアバッグの近くに取り付けたり配線したりしないでください｡※万一エアバッグが作動した時､本体が飛ばされ事故やケガの原因となります｡また､配線が妨げとなりエアバッグが正常に動作しないことがあります。
⊘	電源コードを傷つけたり､無理に曲げたり､加工したりしないでください｡電源コードが傷ついた場合には直ちに使用を中止してください。※感電やショートによる発火の原因となります。
⊘	本製品は精密機器です｡分解や改造は絶対にしないでください｡※発熱､火災､ケガの原因となります。
⊘	ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差しをしないでください｡また､ぬれた状態のプラグを差し込むなどの行為もしないでください。※火災や感電､故障の原因となります。

⚠ 注 意

絵表示	内容
⊘	穴や隙間にピンや針金を入れないでください｡※感電や故障の原因になります。
⊘	本製品は日本国内仕様です｡海外ではご使用にならないでください。
⚠	夏の炎天下､真冬の駐車の際はできるだけ本製品を取り外してください｡※性能の劣化､本体の変形をまねく原因となります。
⚠	一部のカーナビゲーションと同時に使用すると､本製品が鳴り続ける場合があります。
⚠	本製品を取り付けている､いないの状態にかかわらず､速度違反や駐車違反などに関して､弊社では一切の責任を負いかねます。
⚠	microSD カードの挿入､取り外しをするときは､microSD カードスロットに顔を向けないでください。※ケガの原因になります。

もくじ

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

各機能の説明

その他の機能

故障かな?と思ったら

アフターサービスについて

本製品に搭載されている地図の作成に当たっては､国土地理院長の承認を得て､国院発行の数値地図25000（空間データ基盤）を使用したものである。（承認番号　平20業使､第433号）

使用上の注意

■ 取り付けについて

- 取り付けになる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低い為に GPS 信号、レーダー波、各種無線の受信がしにくい場合やできない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合せください。
- 本製品は、本体、アンテナ、モニターともに防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- 本製品は、車載の電装機器（地上デジタルチューナー、カーナビ、ETC、アンテナ類等）や電源ノイズの影響により、特定チャンネルを連続的に受信する場合や GPS を含む各種無線が受信できなくなる場合があります。また、本製品の取り付け位置によっては、お互いの動作に影響が出る場合があります。これは故障や不良ではありません。その場合には、十分間隔をとって取付けてください。
- 車内で TV の 56ch にチャンネルを設定していると、本製品が GPS 測位をできなくなる事があります。これは故障や不良ではありません。
- 一部の車種において付属の DC コードが、シガーライターソケットの形状に合わない場合があります。また禁煙車など、シガーソケットが装備されていない車の場合には、付属の直結配線用 DC コードを使用してください。
- 直結配線用 DC コードでのお車の取り付けには専門的な知識を必要とします。お買い求めになられた販売店などでのお取り付けをお薦めします。

■ 各種 GPS 警告について

- 各種 GPS データは、弊社独自調査によるデータと、公表されているデータを参考に集計、作成しています。
- 取締りポイントおよび待伏せエリアは、取締りの目撃情報を基に登録されています。
- 凍結注意アナウンスは、独自調査による、道路凍結しやすい地点、期間でお知らせします。
- 事故多発エリアは警察庁、国土交通省の統計データにより集計していますが、集計の時期またその後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。また首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し警告が頻繁におこなわれる場合があります。

■ 各種無線の受信について

- 受信内容を第三者に漏洩する事は電波法により禁じられています。
- 各種無線は常に使用されていません。本製品での受信は、無線が使用され、電波が出ている場合に限ります。
- 電波の状態等によって受信状態が変化します。
- 受信電波がデジタル通信の場合は、音声を聞く事ができません。
- 一部地域では各種無線が配備されていない、またはシステムが異なる、変更されるなどの理由により受信する事ができない場合があります。
- レッカー無線は簡易業務用無線の為、同一チャンネル内の他業種無線を多く受信する場合があります。
- 新救急無線は、主に東京都内で使用されている救急無線です。

■ 各種警告案内について

- 本製品は、本製品に登録、記録されたデータ、及び GPS 信号、レーダー波を含む各種無線を受信し、それを基に独自に計算されたデータを利用して警告を行っています。その為、登録、記録されていない地点や、GPS 測位が不安定、未測位な場合、及び各種無線が受信できない場合には、警告動作をおこなうことが出来ません。また、警告内容と実際の状況などが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品でお知らせする制限速度は、天候、その他による臨時規制や時間帯で変化する速度規制には対応してません。
- トンネル案内は、有料道路、都市高速（首都高速、阪神高速など）では案内しません。
- 制限速度切替りポイントは、インターチェンジやジャンクションなどの接続部や料金所などによる制限速度の切替りはお知らせしません。
- ロード自動選択機能は、現在の走行状態が一般道か高速道を走行中かを自動判断し、警告対象道路を自動で設定するため、走行状態によっては実際の状態と異なる設定となる場合があります。確実に警告を出したい場合には、ロード自動選択を「オフ」に設定してご使用ください。
- ズームマップは、取締機のみ表示されます。また実際の走行中の道路と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- トンネル内オービス／トンネル出口警告は G センサーにて自車位置を特定するため、実際の位置と異なる場合があります。
- 本製品でお知らせする飲酒運転警告案内は飲酒運転をしない様に注意を促すもので飲酒検問等をお知らせするものではありません。
- ドライブ／エコ情報については弊社独自の方法により算出してます。

■ レーダー波受信について

- 設置されている速度取締機の中には稼働していないものもあります。この場合、レーダー波を使用している種類であってもお知らせすることができない場合があります。
- 取締りレーダー波以外でも、同一チャンネル等の電波を受信し警告動作をする場合がありますが、誤動作ではありません。
- ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上距離的余裕をもってお知らせする事ができません。ステルスアラームが鳴った時にはすでに計測されている場合があります。
- 大型車の後方を走行する場合やカーブの急な道路を走行する場合、レーダー波を受信しにくい状態になる場合があります。

■ カーロケーターシステムについて

- カーロケーターシステムは全ての警察関係車両に搭載されていません。また搭載されていても常時電波を発信していません。
- カーロケーターシステムの受信については、導入されていない又はシステムが変更されている地域では受信することができません。

■ ディスプレイについて

- 待受画面など同じ映像を長時間表示したり、繰り返し表示（短時間でも）した場合、ディスプレイの特性により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは不良や故障ではありません。また保証対象になりませんので、あらかじめご了承ください。スクリーンセーバーを使用したり、ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減させることができます。
- ディスプレイの中に小さな黒い点や、輝点が発生する場合があります。またすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらはディスプレイの特性、または構造によるものであり、不良や故障ではありません。本現象のディスプレイの修理は、保証対象になりませんのであらかじめご了承ください。
- ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。お車に設置する際には、ご注意ください。
- 偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

■ G センサーについて

- GPS が受信してない場所での完全な自車位置の検出をおこなうものではありません。

■ microSD カードスロットについて

- microSD™ は SD アソシエーションの商標です。
- ご使用に際しては、必ず「microSD カード」のデータのバックアップを作成してください。記録されたデータの破損、消失については故障や損害の内容、原因に関わらず弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様が記録、録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

■ カスタマイズ / 走行ログ /GPS スポット機能について

- カスタマイズ / 走行ログ /GPS スポットの機能を使用する際には市販の「microSD カード」、それを読み書き出来、なおかつインターネットへの接続が可能なパソコン環境が必要となります。また機能によっては本製品での使用に適したデータを作成する必要があります。データの作成方法については、弊社 HP をご参照ください。URL:http://www.cellstar.co.jp/sdcard/

■ データ更新について

- ダウンロードによりデータ更新をおこなう場合、市販の「microSD カード」、それを読み書き出来、なおかつインターネットへの接続が可能な環境が必要となります。

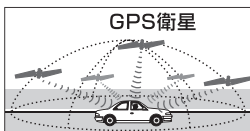
■ その他の注意について

- 本製品は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- 製品のデザインや仕様は、改良等のため予告なく変更する場合があります。
- 本製品の誤った取扱いによる車両や車載品などの事故・破損・故障・損害等が発生しましても弊社では一切の責任を負いかねます。また保証なども一切ありません。
- 本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売されてます。くれぐれも、速度の出し過ぎや飲酒運転は絶対におやめください。また、緊急車両が接近した際には速やかに道をお譲りください。

本製品の特徴

3xG搭載

新採用Gセンサー(G-sensor)搭載によりレーダー探知機の弱点であったトンネル内ビル群·高架下等のGPSをLOSTしてしまうポイントでも計測を続けて、セルスター独自の高精度GPSデータ(Gps-point)を逃さず警告します。さらに多彩になった3D CG(Graphic)。3つのGの融合により生まれた警告を逃さない新システム「3×G」。飛躍的に進化したASSURAで安心で快適なドライブをお楽しみください。

GPS(Global Positioning System)

GPSとは地球の衛星軌道上にある24個のGPS専用の人工衛星からの信号を利用し位置情報を算出するシステムです。

Gセンサー搭載

新搭載のGセンサーで今まで出来なかったトンネル内の警告も可能になります。
※特許出願中

イオス：Effective Operation System

心地よく、効率の良いドライビングサポートを実現させるシステムを採用。GPS情報と登録データを連動させ、常に走行状況を把握することで、自動的に走行速度に合わせた警告内容を判断します。走行状況によりボイスアシストの内容が変化するなど、快適な使用感をご提供いたします。

ピー·キャン

常に適切なドライビングサポートをおこなえるよう、自動ドアなどによるレーダー警告音や取締機の撤去などで必要のなくなったGPS警告音を、ワンタッチ操作で簡単にキャンセルさせることができます。

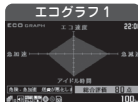
BESTセレクト機能

"BESTボタン"をワンタッチ操作するだけで、機能設定が完了。面倒な設定操作を必要とせず、あらかじめ設定されている「オールモード(全ての警告動作を実行)」「標準モード(お薦めできる標準的な設定)」と、自由にカスタマイズ可能な「マニュアルモード1(初期設定が高速道向け)」、「マニュアルモード2(初期設定が一般道向け)」の4 つを状況に合わせて切り替えることで、より便利で簡単にご使用いただけます。

L.S.C.(ロー·スピード·キャンセラー)機能

GPS 測位中、お車の低速走行や停止時にレーダー警告音を自動的にミュート(消音)します。

参照 L.S.C.機能▶ P43

eco & safety

急加速·急減速·アイドリング時間·エコ速度·運転時間·走行距離·平均速度·CO_2排出量等をお知らせします。総合的に判定し、ecoな運転をしているかを表示します。

いろいろカスタマイズ!

microSD™カードでGPSデータのダウンロードもおもしろカスタマイズも自由自在！

■待受画面

■駐禁エリア

microSD カードによる待受画面、警告画面や音声のカスタマイズ、およびGPS データの更新について詳しくは、以下のWeb ページをご覧ください。
http://www.cellstar.co.jp/sdcard/

走行ログ記録

走行ログ(NMEA準拠フォーマット)を内部メモリーに記録し、microSDに転送することができます。作成したデータは、市販の地図ソフトを使って、地図上に走行経路を表示することができます。

参照 走行ログ機能▶ P48

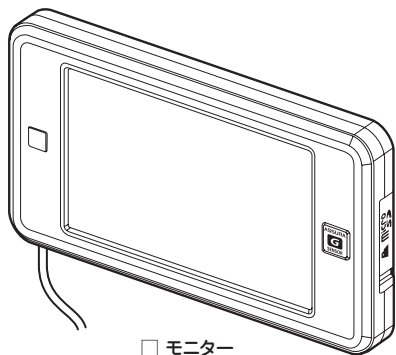
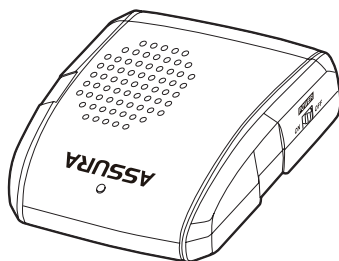
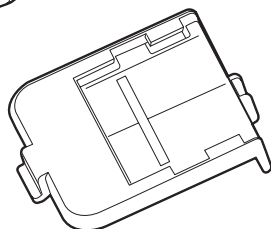
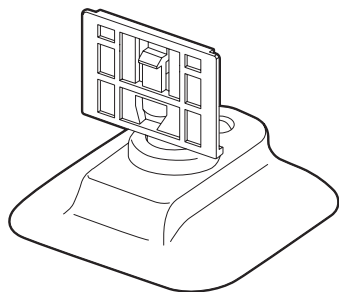
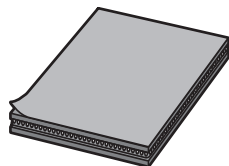
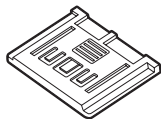
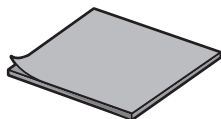
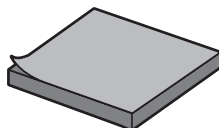
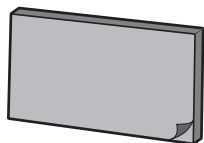
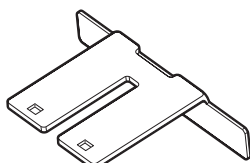
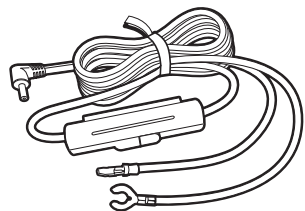
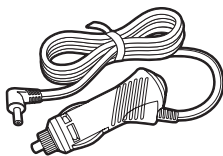
オート·オールラウンドモニター(画面の自動回転)

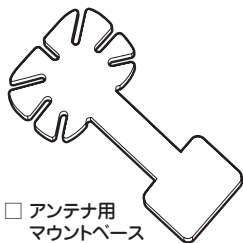
新搭載のオート·オールラウンドモニターで画面のタテ·ヨコが自動で回転!取り付けたい位置を選択できるので、愛車のインテリアにジャストフィットします。

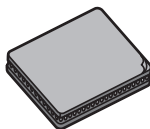
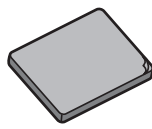
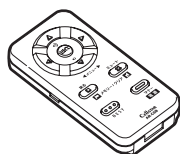
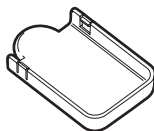
参照 オート·オールラウンドモニター▶ P36

タテ·ヨコ
自動回転!

付属品の確認

はじめに、同梱物の確認をおこなってください。

□ 直結配線用 DC コード

□ シガーライター用
スイッチ付き DC コード

□ コードクリップ ×5

□ アンテナ用
マウントベース

□ アンテナ用マウントベース
取付両面テープ

□ アンテナ取付用
固定テープ

□ アンテナ取付用
両面テープ

□ リモコン

□ リモコンホルダー

□ リモコンホルダー
取付用両面テープ

□ リモコン用電池

参照 リモコン用電池の装着方法 ▶ P12

□ 取扱説明書（本書）
□ 保証書
※その他注意書きが同梱している場合があります。

オプション品

別途お買い求めください。

● RO-102

電源スイッチ付DCコード
（カールタイプ）

● RO-104

外部スピーカー

詳しくは当社ホームページをご確認ください

http://www.cellstar.co.jp

各部の名称と機能

本体の名称と機能

【前面】

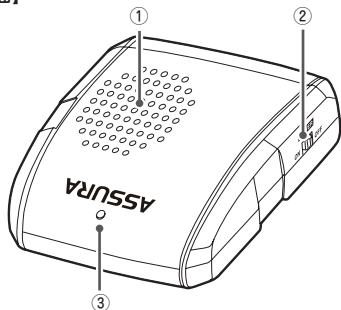
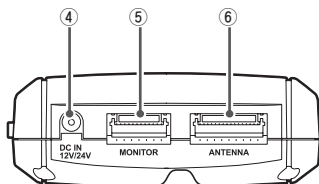
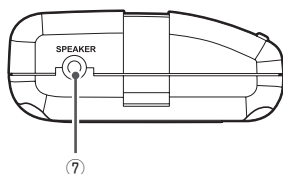
【背面】

④ ⑤ ⑥

DC IN 12V/24V
MONITOR
ANTENNA

【左側面】

SPEAKER

⑦

① **スピーカー**
警告音や、ボイスガイドなどの音が出ます。

② **電源スイッチ**
電源のON/OFF をします。

③ **電源ランプ**
DC12VまたはDC24Vが入力されると赤色に点灯します。

④ **DC12V/DC24Vソケット**
DCコードを接続し、DC12VまたはDC24Vを本製品に入力します。

⑤ **モニターソケット**
モニターコードを接続します。

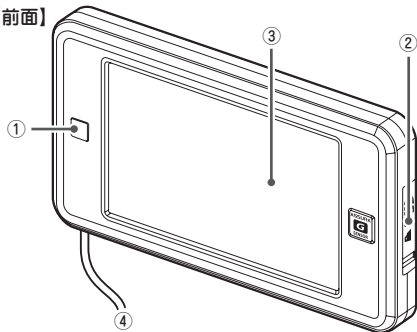
⑥ **アンテナソケット**
アンテナコードを接続します。

⑦ **スピーカーソケット**
別売りの外付けスピーカー（RO-104）のスピーカーコードを接続します。

モニターの名称と機能

【前面】

① ② ③ ④

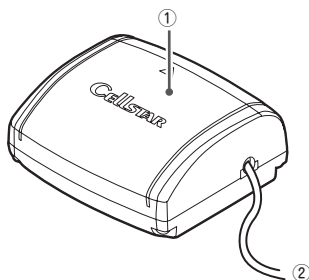
ASSURA G SENSOR

① **赤外線受光部**
リモコンから送信される赤外線を受光します。

② **microSDカードスロット**
待受画面を追加したり、本製品内蔵の画像／音声を差し替える際に使用するmicroSDカードを挿入します。

③ **ディスプレイ**
レーダー受信時、GPS警告時、各種無線の受信時に警告画面を表示します。また、マニュアルモードなどで各種設定内容を示します。

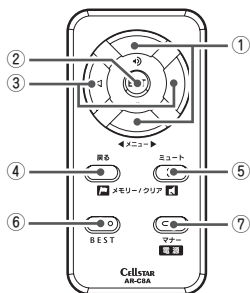
④ **モニターコード**
本体のモニターソケットに接続します。

アンテナの名称と機能

【前面】

① **GPS/レーダー受信部**
GPS衛星、レーダー波を受信します。

② **アンテナコード**
本体のアンテナソケットに接続します。

リモコンの名称と機能

【リモコン】

① **▲▼ボタン**
音量を調整するときに使用します。また、各種設定変更時の設定切り替えに使用します。

② **ENTボタン**
設定操作の決定や、通過速度の確認、1 キロ圏内サーチ機能、ワンスキップの操作をするときに使用します。

③ **◀▶ボタン**
設定メニューの選択時に使用します。

④ **戻るボタン**
ユーザーメモリー機能やGPS警告ポイント消去機能などを設定するときに使用します。また、各種設定の操作などを中止するときにも使用します。

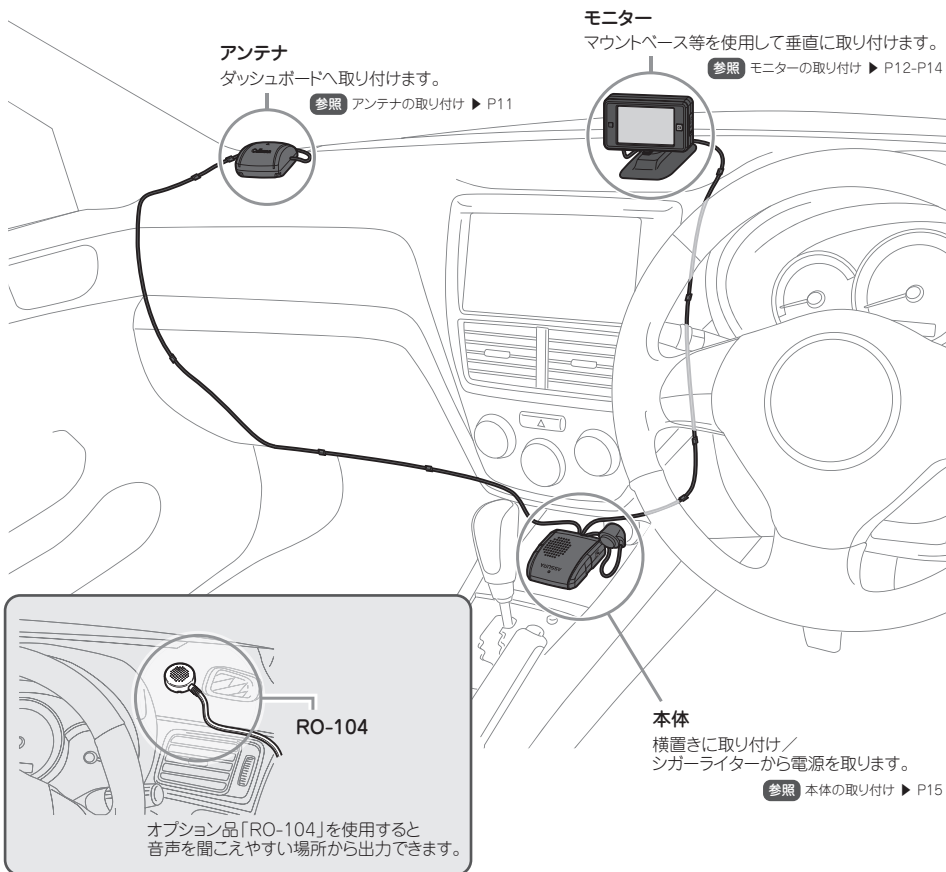
⑤ **ミュートボタン**
ミュート機能、スキップメモリー、レーダーキャンセルメモリーなどの設定をするときに使用します。

⑥ **BEST ボタン**
BESTセレクト機能の切り替えや設定チェックをするときなどに使用します。

⑦ **電源ボタン**
本体の電源をON/OFF します。またマナーモードを切り替えるときや、反則金データベースを表示するときに使用します。

本製品の取り付け方法

本製品の取り付けイメージ

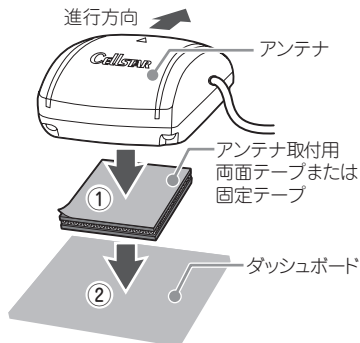
本製品の本体、モニター、アンテナは以下の図のように取り付けます。
これ以外にもさまざまな取り付け方が可能です。

⚠ 取り付け上の注意

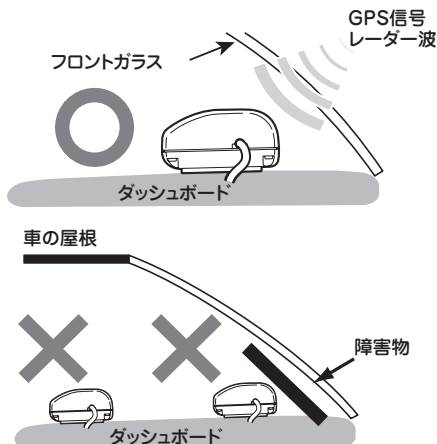
- 本製品は、12V または24V 車に使用することができます。
- 本機の取り付けには専門的な知識を必要とします。お買い求めになられた販売店などでのお取り付けをお薦めします。
- お車のフロントガラスが熱反射ガラスで電波を通さない仕様の場合、アンテナをフロントガラスの上部など電波を通す限られた場所に取り付ける必要があります。詳しくは販売店、カーディーラーなどでご確認ください。
- 取り付け、配線は視界の妨げ、運転の妨げ、また車両の機能(ハンドル、ブレーキなど) の妨げにならないように注意し確実に行なってください。
- エアバッグの近くに取り付けたり、配線したりしないでください。
- 本体の取り付け場所、各コードの配線処理によっては、ノイズなどによる車両への影響、また周辺の電子機器の影響を受ける場合があります。
- DC コードやアンテナコードを無理に曲げたり、つぶしたり、加工しないでください。
- 直結配線用DC コードを使用して配線をおこなう場合、ショート事故防止のため、あらかじめバッテリーの(−) マイナス端子を外して作業を行ってください。
- 直結配線用DC コードでの配線の場合には、確実にお車のボディにアース接続してください。
- シガーライター用スイッチ付きDC コードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。

アンテナの取り付け

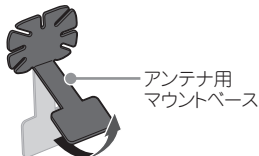
ダッシュボードへ取り付ける場合

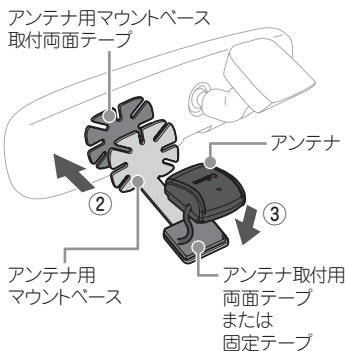
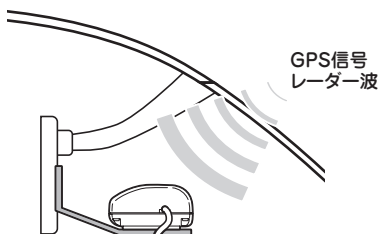
1 アンテナにアンテナ取付用両面テープ、またはアンテナ取付用固定テープを貼り付けます。

2 ダッシュボードにアンテナを取り付けます。

⚠注意

- 本製品は上空からのGPS 信号受信と前後方向からのレーダー波を受信してお知らせします。
  そのため本体の上や前（車の進行方向）などに、金属などの障害となるものがないように本体をお取り付けください。

- 一部車種のウィンドウに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低いためGPS 信号やレーダー波の受信がしにくい場合やできない場合があります。
  熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。

ルームミラーに取り付る場合

1 アンテナ用マウントベースを下図のように折り曲げて、角度を調整します。

2 アンテナ用マウントベースにアンテナ用マウントベース取付用両面テープを貼り付け、ルームミラーの裏側に取り付けます。

3 アンテナ用マウントベースにアンテナ取付用両面テープ、またはアンテナ取付用固定テープを貼り付け、アンテナを固定します。

設置例

アンテナは防水構造ではありません。
必ず車内へ設置してください。

本製品の取り付け方法

モニターの取り付け

⚠ 角度の調整について

・モニターを下図の角度の範囲内で取り付けない場合、Gセンサーが正しく動作しないことがあります。

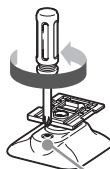
横から見た角度

+30度 ～ −30度の範囲内

正面から見た角度

+30度 ～ −30度の範囲内

※上記範囲内でモニターを取り付け、自動で画面が回転しない場合は、電源を入れなおしてください。
Gセンサーの補正は、自動的にをおこないます。
※常に一定方向のGを表示している場合、水平な場所で電源を入れなおしてください。

マウントベースの取り付け向きに注意してください。

マウントベースに装着した本体の向きがぐらつく場合、マウントベースの調整ネジを締めることで、しっかりと本体を固定することができます。一度マウントベースから本体を取り外し、調整ネジをドライバーなどで締め直してください。

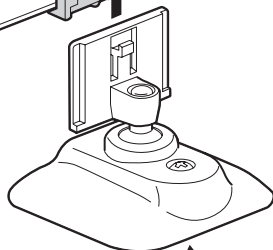
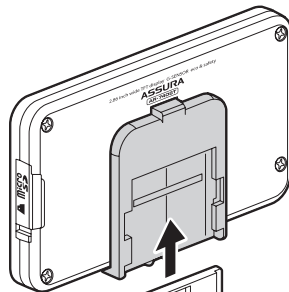
調整ネジ

ジェルマットは剥がしても接着跡が残りにくく、粘着力が弱くなった場合、表面の汚れを洗い落とすことで粘着力が復活し、再使用することができます。傾斜している場所への取り付けなど、ジェルマット使用での取り付けが不安定になる場合は、付属の両面テープを使用して、確実に取り付けてください。

ダッシュボードへ取り付ける場合

1 モニターの溝の部分にホールドプレートのツメを差込み矢印の方向にカチッと音がするまで押し込みます。

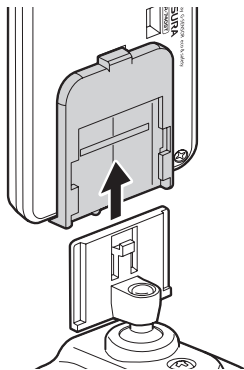
モニターを横置きする場合

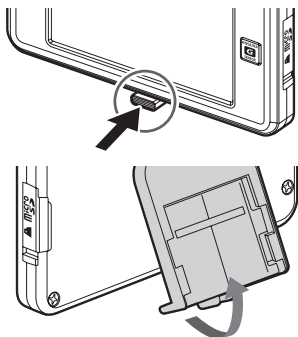
2 ホールドプレートにマウントベースを差し込みます。

3 マウントベースにダッシュボード取付用両面テープ、またはダッシュボード取付用ジェルマットを貼り付け、ダッシュボードに固定します。

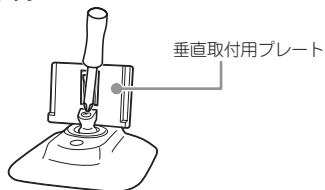
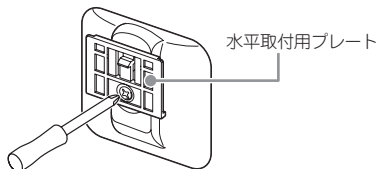
モニターの取り付け

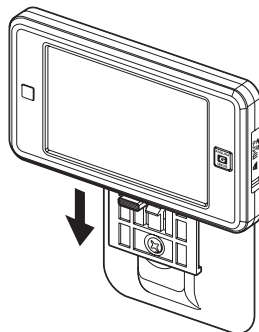
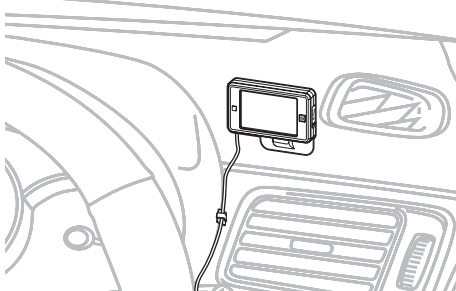
モニターを縦置きする場合

1 microSDカードスロットがある面を上にしてモニターの溝の部分にホールドプレートのツメを差込み矢印の方向にカチッと音がするまで押し込みます。

2 ホールドプレートにマウントベースを差し込みます。

ホールドプレートの取り外し

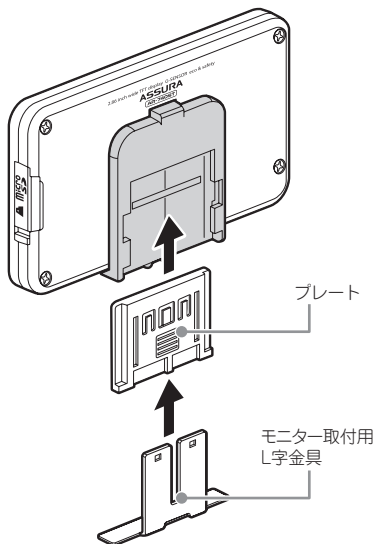
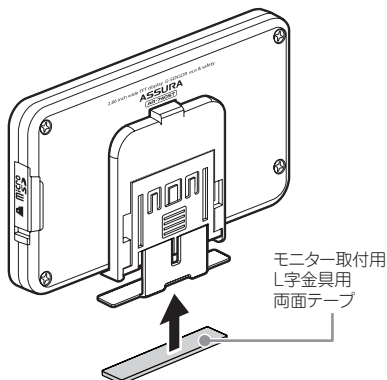
1 ホールドプレートの矢印の箇所を押し込み、モニターを持ち上げるようにして取り外します。

マウントベースを使用して水平に取り付ける場合

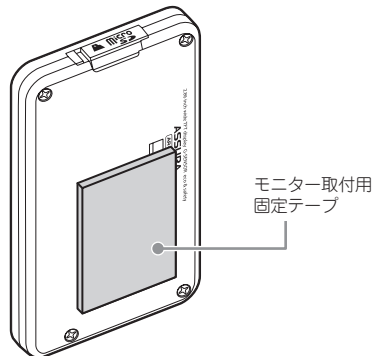
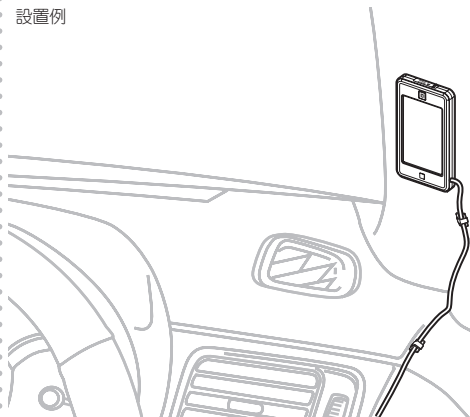
1 マウントベースのネジを外し、垂直取付用プレートを外します。

2 マウントベースに水平取付用プレートを取り付け、ネジで固定します。

3 マウントベースにモニターを取り付けます。
※モニターにホールドプレートを取り付けておきます。

設置例

本製品の取り付け方法

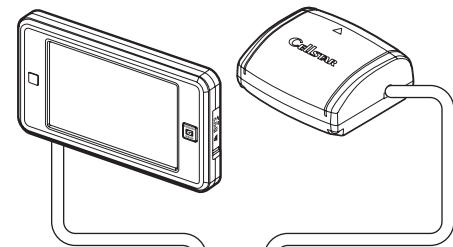
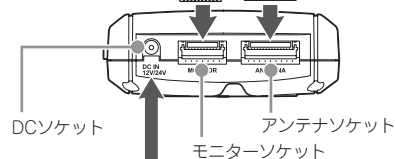
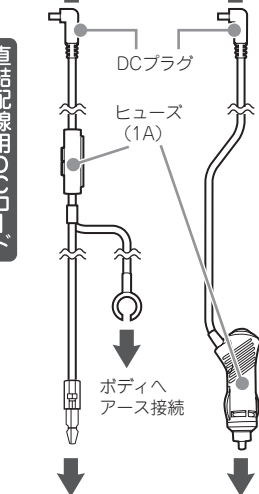
モニターの取り付け

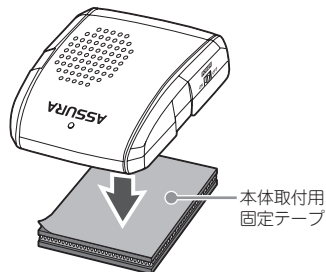
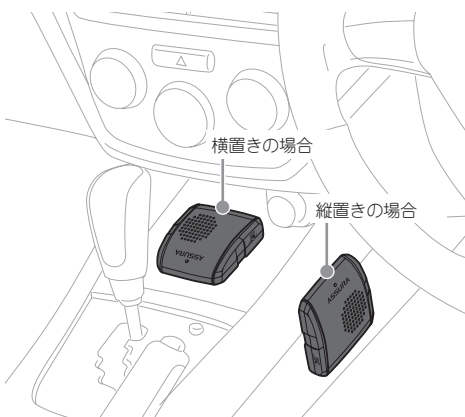
モニター取付用L字金具を使用する場合

1 ホールドプレートに「プレート」を差し込み、「プレート」の溝にモニター取付用L字金具を差し込みます。

2 モニター取付用L字金具にモニター取付用L字金具用両面テープを貼り付け、ダッシュボードに固定します。

直接ダッシュボードなどに取り付ける場合

1 モニターの背面にモニター取付用固定テープを貼り付けます。

設置例

振動で落下しないようにしっかり固定してください。

本体の取り付け

本体／アンテナ／モニター／DCコードの接続

お車への取り付け方法

1 本体に本体取付用固定テープを貼り付け、お車に固定します。※本体を縦置きすることも可能です。

設置例

⚠注意

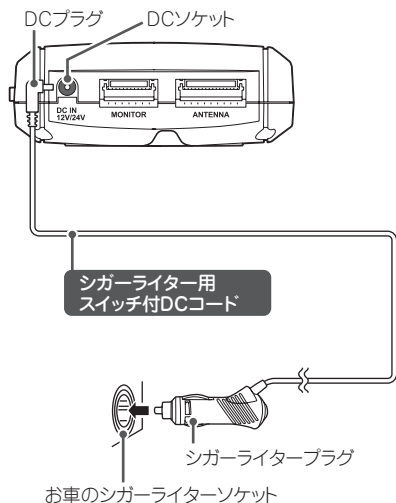
本体には各種無線の受信部が内蔵されています。
設置場所によっては受信感度が低くなる場合があります。
無線受信が悪いと感じる場合は本体の設置場所を変更してください。

⚠ 取り付け上の注意

- ●本機の取り付けには専門的な知識を必要とします。お買い求めになられた販売店などでのお取り付けをお薦めします。
- ●取り付け、配線は視界の妨げ、運転の妨げ、また車両の機能(ハンドル、ブレーキなど)の妨げにならないように注意し確実に行なってください。
- ●エアバッグの近くに取り付けたり、配線したりしないでください。
- ●本体の取り付け場所、各コードの配線処理によっては、ノイズなどによる車両への影響、また周辺の電子機器の影響を受ける場合があります。
- ●DC コードを無理に曲げたり、つぶしたり、加工しないでください。
- ●直結配線用DC コードを使用して配線をおこなう場合、ショート事故防止のため、あらかじめバッテリーの(−) マイナス端子を外して作業を行ってください。
- ●直結配線用DC コードでの配線の場合には、確実にお車のボディにアース接続してください。
- ●シガーライター用スイッチ付DC コードをシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らないでください。

シガーライターから電源を取る方法

シガーライター用スイッチ付DCコードのプラグを、お車のシガーライターソケットに接続してください。

【本体背面】

一部の車種において付属のシガーライター用スイッチ付DCコードが、シガーライターソケットの形状と合わない場合があります。

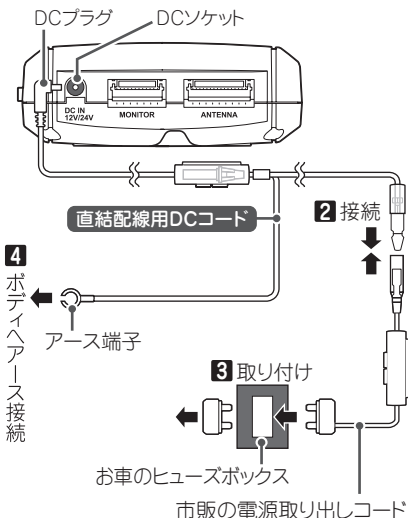
ヒューズが切れた場合

ヒューズ(1A)を交換します。

ヒューズボックスから電源を取る方法

市販の電源取り出しコード(平型ヒューズタイプ)をご使用いただくことで、ヒューズボックスから電源を取ることができます。

1. ACC オン/オフ に連動するヒューズボックス内のヒューズ(シガーライター、ラジオなど)を探します。
2. 直接配線用DCコードと電源取り出しコードを接続します。
3. ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取り出しコードをバッテリー側に差し込みます。
4. 直接配線用DCコードのアース端子をお車のボディに接続します。

【本体背面】

エンジンをかけて本製品の電源がONにならない場合は、以下の点を点検してください。
・本体の電源スイッチ
・コード類の接続
・お車、または直接配線用DC コード内のヒューズ

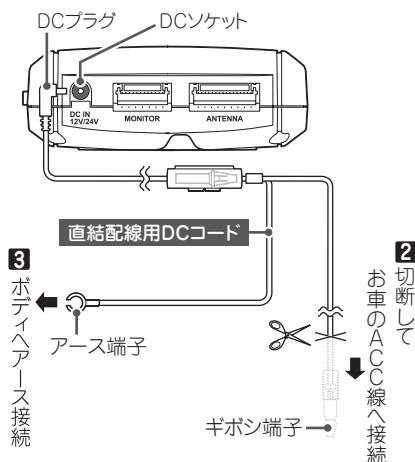
ACC線から直接電源を取る方法

市販のエレクトロタップなどをご使用いただくことでお車のACC線から直接電源を取ることができます。

1 テスターなどで、お車のキーをACC ONにしたときに12V/24V、OFFにしたときに0VになるACC線を探します。

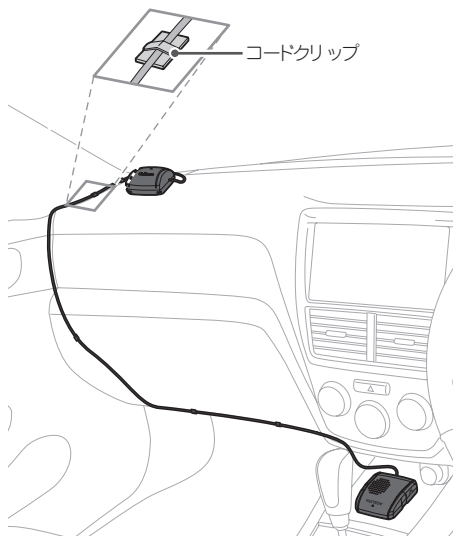
2 直結配線用DCコードのギボシ端子を切り落とし、市販のエレクトロタップなどを使用してお車のACC線へ接続します。

3 直結配線用DCコードのアース端子をお車のボディに接続します。

【本体背面】

アース端子接続の注意

アース端子はボディの金属部に接続してください。
【取り付けに適している場所】
車の電装のアースポイント（コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ）
【取り付けに適さない場所】
・アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めているネジ（タッピンネジなど）
・チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作（上下）する金属部分

配線処理

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。
余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。

注意

・配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業を行ってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。
・コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
・コードをお車のダッシュボードなどに固定した場合、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分にご注意ください。

コードの取り外し方

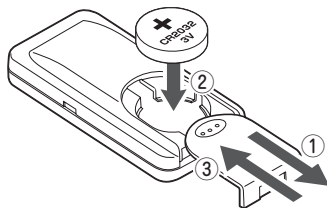
本体からモニターコードやアンテナコードを抜く場合には、必ずコネクタの部分を持って作業をおこなってください。
コードを持ったり、引っ張ったりすると、コードが断線する場合があります。

コードを持って引っ張らないでください。

リモコンの取り付けと使用方法

リモコン用電池の装着方法

本製品ではボタン電池(CR2032)を使用します。
初めて本製品をご使用になる場合は、リモコンに同梱の電池を装着してください。
また、リモコンが作動しにくくなった場合は、市販されている新しい同型の電池に交換してください。

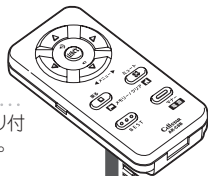
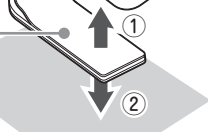
1 電池カバーを後ろにずらして外します。

2 電池を下図のように「+」側を上にして、リモコンに納めます。

3 電池カバーをはめ直します。

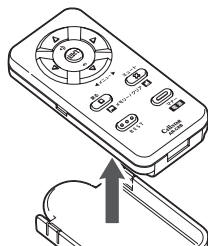
⚠ 警告	・電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。 ・電池は充電、分解、変形、加熱、はんだ付け、火に入れるなどしないでください。
⚠ 注意	・電池の「+」「−」を逆に入れないでください。 ・長期間、機器を使用しない場合は、機器から電池を取り出して保管してください。 ・同梱の電池は、モニター用電池です。

リモコンの取り付け

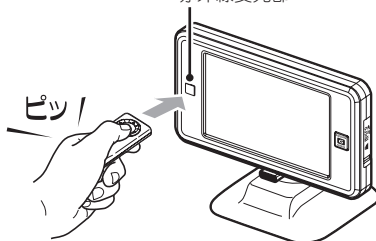
リモコンを紛失しないように、リモコンホルダーをお車に固定すると便利です。

1 リモコンホルダーとリモコン取付用両面テープを貼り付けます。

2 リモコンホルダーを取り付け箇所に貼り付けます。

3 リモコンをリモコンホルダーに納めます。

リモコンの取り外し

下図の矢印の向きにリモコンホルダーから取り外します。

リモコンの操作方法

リモコンを右図のように持ち、本体の赤外線受光部に向けてボタンを押してください。

⚠ 注意	・リモコンを紛失いたしますと、本製品の操作をおこなうことができません。紛失しないよう、十分ご注意ください。 ・本体の赤外線受光部およびリモコンの赤外線送信部に直射日光が当たっている場合、リモコンが操作できなくなる場合があります。これは本製品の製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

microSD カードの使用方法

本製品では市販のmicroSDカードを使用して、本製品に内蔵している警告画面や待受画面、またはスピーカーから出力される音をお好みのものに差し替えたり、GPSデータを更新することなどができます。

microSD カードによる待受画面、警告画面や音声のカスタマイズ、およびGPS データの更新などについて詳しくは、以下のWeb ページをご覧ください。

http://www.cellstar.co.jp/sdcard/

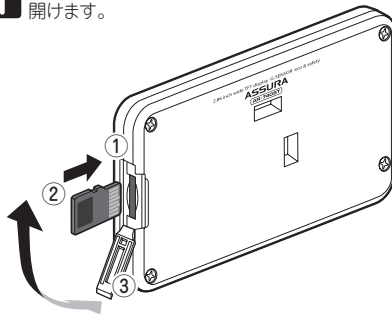
※ 本製品はSD 規格に準拠したFAT16形式でフォーマットされたmicroSDカードが使用できます。
※ 本製品では、8MB～1GB までのmicroSDカードが使用できます。
※ 本製品では、SDHCのmicroSDカードは使用できません。
※ microSD™ はSDアソシエーションの商標です。

⚠ microSD カードに保存したデータの取り扱いについて

・本製品は、使用の誤り、静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、故障・修理が発生した場合などにお客様が保存したデータが破損してしまう場合があります。microSD カードを使用する前にデータのバックアップを取っておくことをお薦めします。
なお本製品におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・お客様が記録、録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

参照 待受背景の選択▶ P37
参照 スクリーンセーバーの設定▶ P37
参照 GPSデータ更新▶ P47
参照 GPSスポット追加機能▶ P48
参照 走行ログ記録▶ P48

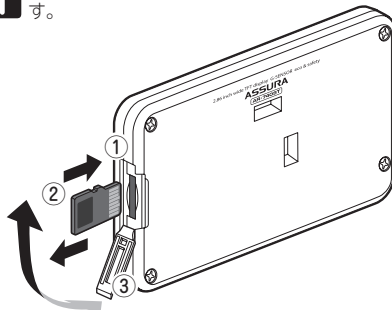
microSDカードの挿入

1 モニター左側面のmicroSDカードスロットカバーを開けます。

2 microSDカードの向きに注意して「カチッ」と音がするまで押し込みます。

3 カバーを閉じます。

microSDカードの取り出し

画面に「microSDカードを抜かないで下さい」と表示されていないことを確認してください。

1 本体左側面のmicroSDカードスロットカバーを開けます。

2 挿入されているmicroSDカードを「カチッ」と音がするまで押し込むと、microSDカードが排出されます。

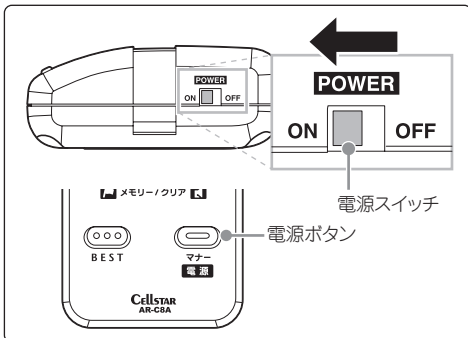
3 microSDカードを取り出し、カバーを閉じます。

電源を入れる / 切る

電源を入れる

1 **お車のエンジンを始動します。**

2 **本体の「電源スイッチ」を「ON」にします。**
またはリモコンの「電源ボタン」を約3 秒間押し続けます。電源が入るとウェルカムボイスで、シートベルトの着用または全国交通安全運動週間中の案内や飲酒運転警告をお知らせします。
※ ご購入後、はじめて電源を入れた日が交通安全運動期間中の場合、交通安全運動期間中の案内はおこないません。シートベルトの着用案内をお知らせします。また、はじめて電源を入れた時間が夜間の場合でも飲酒運転警告はおこないません。

※ リモコンによる電源ON操作はリモコンにより電源OFFした後、有効となります。
※ アンテナから本体にGPS信号が届いていない場合、下の画面がディスプレイに表示されます。アンテナと本体の接続を確認してください。

⚠ お買い求めいただいて始めてお使いになる場合

GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが(約15分程度)、これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS 測位に20 分以上かかる場合は電源を入れ直してください。GPS 測位が確定すると「♪ピンポン、GPSを測位しました。」とお知らせします。

オープニング画面

通常時はシートベルト着用のお知らせをします。

飲酒運転警告機能の設定がONの場合、夜間に本製品の電源が入ったときにお知らせします。

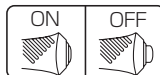
4月6日 ~ 4月15日※ の春の交通安全運動週間にお知らせします。

※4年に一度おこなわれる統一地方選挙のある年だけ、5月11日~5月20日に変更になります。

9月21日~9月30日の秋の交通安全運動週間にお知らせします。

電源を切る

1 **本体の「電源スイッチ」を「OFF」にします。**
またはリモコンの「電源ボタン」を約3 秒間押し続けます。約1秒後反則金データベースが表示されますが、そのまま押し続けてください。

シガーライター用スイッチ付DCコードで電源をON/OFFする

※ヒューズが切れた場合は1Aのものと交換してください。

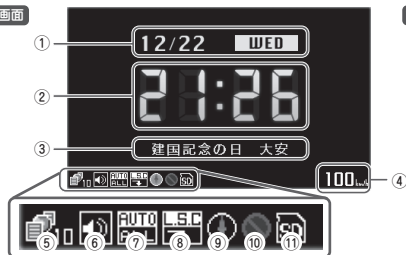
画面の見方（待受画面）

本製品が起動すると、次の待受画面を表示します。各種警告や案内をおこなうたびに画面が切り替わります。

時間 カレンダー　工場出荷時の設定

参照 待受画面の選択▶P37

時間とカレンダーや各種情報を表示する待受画面です。

横画面

縦画面

表示されるデータは目安としてご使用ください。

① **曜日/月日**
GPSによって現在の曜日や月日を表示します。

② **時刻**
GPSによって現在の時間を表示します。

③ **祝日/六曜**
GPSによって現在の祝日や六曜を表示します。

④ **走行速度**
GPSによって走行速度を測定し表示します。
取締機手前約2キロ〜約200m間で制限速度超の場合はピンク色に表示します。
※GPSが未測位、またはGセンサーのみで計測しているときは「ーーーkm/h」と表示されます。

⑤**測位しているGPSの状況と個数**

アイコン	表示
	GPSとGセンサーで測位のときに表示
赤色表示	GPSとGセンサーが未測位のときに表示
G	Gセンサーで測位のときに表示

⑥ **音声出力の状況**

アイコン	表示
	通常出力のときに表示
	マナーモードのときに表示
	ミュート（消音）のときに表示

⑦ **ロード自動選択の状況**

アイコン	表示
AUTO ALL	オールモードのときに表示
AUTO Hi	ハイウェイモードのときに表示
AUTO City	シティモードのときに表示

⑧**L.S.Cの状況**

アイコン	表示
L.S.C ↓	L.S.C.設定速度以下のときに表示
L.S.C ↑	L.S.C.設定速度以上のときに表示
L.S.C OFF	L.S.C.設定がオフのときに表示

⑨ **方位**
GPSによって自車の進行方向を表示します。

⑩ **駐車禁止エリア**

アイコン	表示
	駐車禁止エリアのときに表示
	待伏せエリアのときに表示

⑪ **microSDカードアイコン**
microSDカードが挿入されているときに表示します。

待受背景の設定を変更すると「時間 カレンダー」の待受画面が変更されます。

待受背景1
工場出荷時の設定

待受背景2

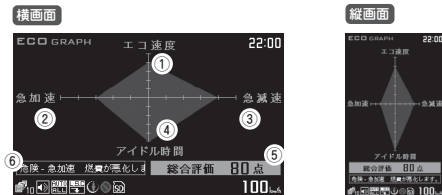
待受背景3

画面の見方（待受画面）

エコグラフ1

エコ速度、急減速、アイドル時間、急加速をGPSやGセンサーから測定して、グラフ表示します。
運転のエコ度を見ることができます。

横画面

縦画面

※取り付け状態によっては、正確にエコグラフが表示しない場合があります。

① **エコ速度**
走行速度50km/h～100km/h間で加減速の少ない走行が連続1分間以上継続したとき点数が加算します。

② **急加速**
Gセンサーが急加速を感知したときに減算されます。

③ **急減速**
Gセンサーが急減速を感知したときに減算されます。

④ **アイドル時間**
お車のアイドリング時間（停車）を判定して点数が減算されます。

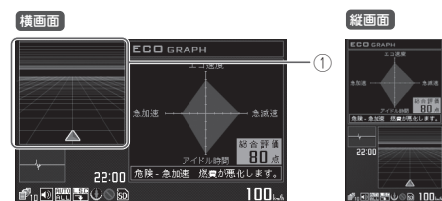
⑤ **総合評価**
①～④の評価項目から判定して点数を表示します。

⑥ **エコアナウンス**
エコ運転の内容を表示します。

エコグラフ2

モーションエリアビューとエコグラフを表示します。

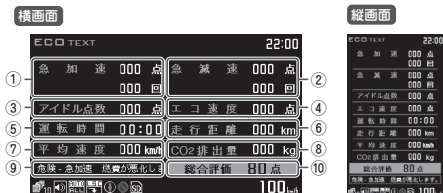
横画面

縦画面

① **ツインウィンドウ**
モーションエリアビューを表示します。

エコテキスト1

急加速、急減速、アイドル時間、エコ速度、運転時間、走行距離、平均速度、CO_2排出量※をGPSやGセンサーから測定し、エコ運転を文字で案内します。
※CO_2排出量の排出量は事前の設定が必要です。

横画面

縦画面

※取り付け状態によっては、正確にエコテキストが表示しない場合があります。

① **急加速**
Gセンサーが急加速を感知したときに減算されます。
また急加速を感知した回数を表示します。

② **急減速**
Gセンサーが急減速を感知したときに減算されます。
また急減速を感知した回数を表示します。

③ **アイドル時間**
お車のアイドリング時間（停車）を判定して点数が減算されます。

④ **エコ速度**
走行速度50km/h～100km/h間で加減速の少ない走行が連続1分間以上継続したとき点数が加算します。

⑤ **運転時間**
本製品の電源がONになってからの時間を表示します。

⑥ **走行距離**
GPSによって電源がONになってからの走行距離を表示します。

⑦ **平均速度**
走行距離と運転時間から算出した平均速度を表示します。

⑧ **CO_2排出量**
設定した自車の走行燃費をもとに走行状況からCO_2排出量を算出し表示します。

⑨ **総合評価**
①～④の評価項目から判定して点数を表示します。

⑩ **エコアナウンス**
エコ運転の内容を表示します。

エコテキスト2

モーションエリアビューとエコテキストを表示します。

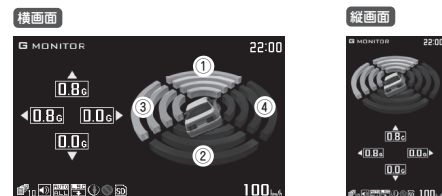
横画面　縦画面

① **ツインウィンドウ**
モーションエリアビューを表示します。

Gモニター

Gセンサーから測定した車両にかかるGをグラフと数値で表示します。

横画面

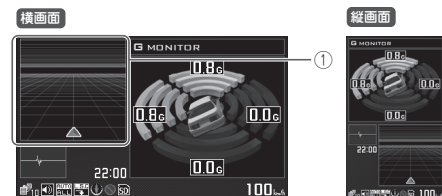
縦画面

※常に一定方向のGを表示している場合、水平な場所で電源を入れなおしてください。
※取り付け状態によっては、正確にGモニターが表示しない場合があります。

① **フロントG**
車両の前方にかかるGを表示します。
② **リアG**
車両の後方にかかるGを表示します。
③ **左サイドG**
車両の左側にかかるGを表示します。
④ **右サイドG**
車両の右側にかかるGを表示します。

Gモニター2

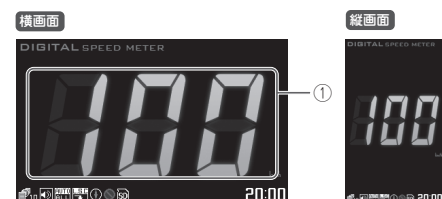
モーションエリアビューとGモニターを表示します。

横画面

縦画面

① **ツインウィンドウ**
モーションエリアビューを表示します。

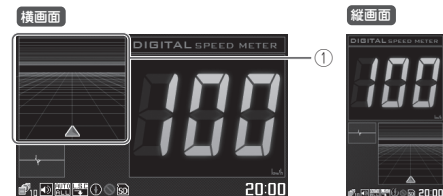
デジタルメーター1

自車速度をデジタルメーターで表示します。

横画面　縦画面

① **デジタルメーター**
GPSによって走行速度を測定し表示します。
※GPSが未測位、またはGセンサーのみで計測しているときは「―――km/h」と表示されます。

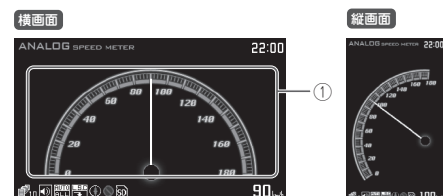
デジタルメーター2

モーションエリアビューと自車速度をデジタルメーターで表示します。

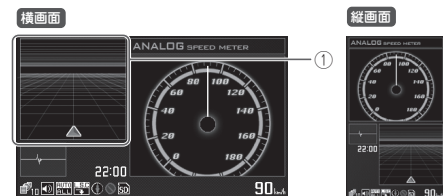
横画面　縦画面

① **ツインウィンドウ**
モーションエリアビューを表示します。

アナログメーター1

自車速度をアナログメーターで表示します。

横画面　縦画面

① **アナログメーター**
GPSによって走行速度を測定し表示します。
※GPSが未測位、またはGセンサーのみで計測しているときは「0km/h」と表示されます。

アナログメーター2

モーションエリアビューと自車速度をアナログメーターで表示します。

横画面　縦画面

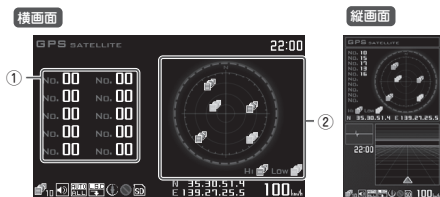
① **ツインウィンドウ**
モーションエリアビューを表示します。

画面の見方(待受画面)

衛星情報1

測定しているGPS衛星の位置や数を表示します。

横画面

縦画面

① **GPS衛星番号**
現在、測位しているGPS衛星の番号を表示します。
最大12のGPSを受信します。

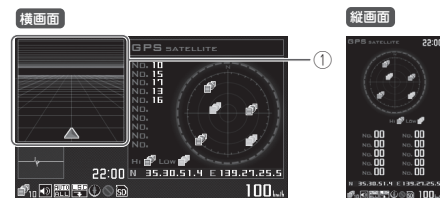
② **GPS衛星の位置**
現在、測位しているGPS衛星の位置を表示します。

HI 高感度で測位している衛星	LOW 低感度で測位している衛星

衛星情報2

モーションエリアビューと衛星情報を表示します。

横画面

縦画面

① **ツインウィンドウ**
モーションエリアビューを表示します。

オフ

待受画面を非表示にします。

横画面

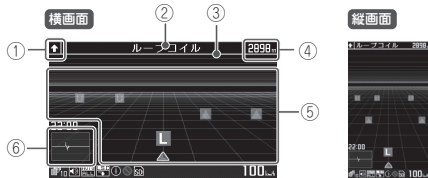
縦画面

画面の見方（警告・案内）

取締機などの警告や案内時の動き

全画面モーションエリアビュー

横画面

縦画面

※全画面モーションエリアビューは、駐車禁止（重点･最重点）エリア、制限速度切替りポイント、県境アナウンス、凍結注意、盗難多発エリアでは表示されません。
※全画面モーションエリアビューの表示/非表示を設定することができます。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P34-P35
参照 全画面モーションエリアビューのオン／オフ設定▶ P36

① **取締機のある方向**
GPSから自車位置を計測し、取締機などが設置されている方向を表示します。

② **取締機などの名称**
①で警告している取締機などの名前を表示します。

③ **道路の種類**
①で警告している取締機などが設置されている道路の種類を表示しています。

青色	一般道
緑色	高速道

④ **取締機までの距離**
GPSから自車位置を計測し、取締機などが設置されている距離を表示しています。

⑤ **取締機などの位置**

H	新Hシステム	赤色
L	ループコイル	
LH	LHシステム	
NH	NHシステム	
O	レーダー式オービス	
SG	信号無視監視機	
△	その他のポイント	緑色
T	取締ポイント	青色
U	ユーザーポイント	黄色

⑥ **無線またはレーダー波の受信状況**

黄色	無線
紫色	レーダー波

GPS警告

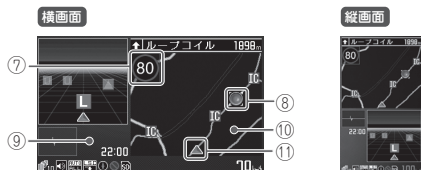
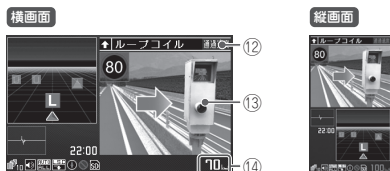
取締機手前約2キロ～約200m

横画面

縦画面

取締機手前約200m～約0m

横画面

縦画面

⑦ **制限速度**
取締機などの制限速度を表示します。

⑧ **取締機の位置**
取締機などが設置されている位置を表示しています。

⑨ **背景での案内**
取締機などが設置されている道路の種類と制限速度超の案内をおこないます。

青色	一般道
緑色	高速道
赤色	制限速度オーバー

⑩ **ズームマップ表示**
取締機などに近づくと地図が拡大表示します。

⑪ **自車位置**
GPSまたはGセンサーで計測した自車位置を表示しています。

⑫ **通過速度の案内**

白色	通過速度が制限速度内の時
ピンク色	通過速度が制限速度超の時

⑬ **取締機のイラスト**
イラストは取締機の種類と設置されたカメラ位置（道路の左/中央/右）や各種GPS案内によって変化します。

参照 各種GPS警告の種類と内容 ▶ P27-P29

⑭ **通過速度**
制限速度超の場合はピンク色で表示します。

各種 GPS 警告案内例

速度取締機（ループコイル、新Hシステム、レーダー式オービス、LHシステム、NHシステム）、信号無視監視機の警告動作

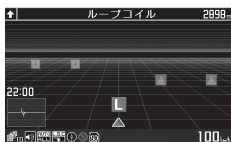
4ステップGPS警告（速度取締機の約2キロ手前から最大4回）でお知らせします。

例:首都高速、ループコイルの場合

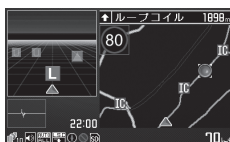
GPS衛星

進行方向

設置型 速度取締機

ステップ1（約2キロ手前） ステップ2（約1キロ手前） ステップ3（約500m手前） ステップ4（約200m手前）

全画面モーションエリアビューが表示され、取締機のおよその位置を案内します。

※距離のボイスアシストは、走行状況によって2キロ先/2キロ以内、1キロ先/1キロ以内、500m先/500m以内と変化します。
※一般道は、約1キロ手前からの3ステップGPS警告になります。
※一般道のトンネル内取締機は約1キロ手前からの2ステップGPS警告になります。
※全画面モーションエリアビューを表示するには、全画面エリアビューをオンに設定、待受画面のツインウィンドウを表示しない設定にします。

ステップ1（約2キロ手前）

ズームマップが表示されます。→ **4ステップGPS警告**開始。

案内対象		音声
高速道	ピンポン	2キロ先（距離） 首都高速（高速道路名称） ループコイル（速度取締機） に注意してください。
高速道 トンネル	ピンポン	2キロ先（距離） 首都高速（高速道路名称） トンネル内（トンネル案内） ループコイル（速度取締機） に注意してください。

ステップ2（約1キロ手前）

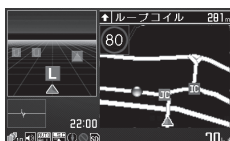
案内対象		音声
高速道 一般道	ピンポン	1キロ先（距離） 首都高速（高速道路名称） ループコイル（速度取締機） に 注意。制限速度 80キロ以下（制限速度） です。

制限速度を超過している場合（例:制限速度80キロ）

ピンポン 制限速度 80キロ以下（制限速度） です。危険です。スピード落として。

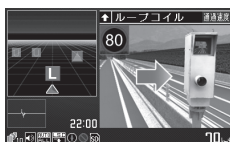
案内対象		音声
高速道 トンネル	ピンポン	この先 首都高速（高速道路名称） トンネル内（トンネル案内） ループコイル（速度取締機） に注意。制限速度 80キロ以下（制限速度） です。

・取締機カウントダウンを設定している場合
取締機までの距離を100m刻みで案内します。　**例:取締機まであと900m。**

ステップ3（約500m手前）

案内対象		音声
高速道 一般道	ピンポン	500m先（距離） 首都高速（高速道路名称） ループコイル（速度取締機） に注意してください。
高速道 トンネル	ピンポン	まもなく 首都高速（高速道路名称） トンネル内（トンネル案内） ループコイル（速度取締機） に注意してください。

※トンネル内ではステップ3でズームマップ表示はおこないません。
※トンネル内では取締機カウントダウンおよびカメラ位置警告はおこないません。

・取締機カウントダウンを設定している場合
取締機までの距離を100m刻みで案内します。　**例:取締機まであと300m。**

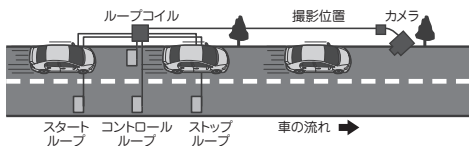
ステップ4（約200m手前）

案内対象		音声
高速道 一般道	ピンポン	カメラは 右側（カメラ位置） です。 通過速度は 70キロ以下（通過速度） です。

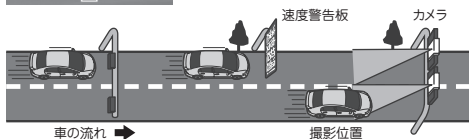
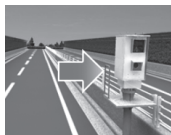
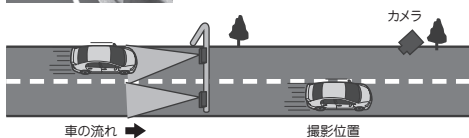
注意

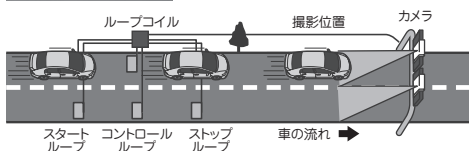
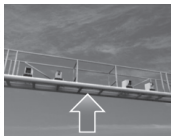
・通過速度警告は4ステップGPS警告中の約200m手前で、警告を開始した時点に計測した速度をお知らせします。GPSで計測した速度とお車のスピードメーターでは計測方法が違うため、同時点の計測であっても異なる場合があります。
・本製品で表示するズームマップは警告中のポイントに対するもので、実際の走行中の道路と異なる場合があります。
・Gセンサーのみで動作している場合、走行速度は表示されません。

各種 GPS 警告の種類と内容

ループコイル

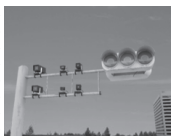
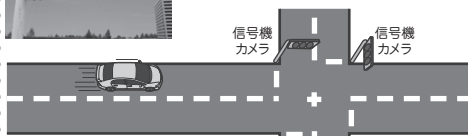
車両が複数あるループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測して、違反車両をカメラで撮影します。
※カメラの向きにより画面は異なります。

新Hシステム

レーダー波と異なった種類の電波を使用します。事前に「速度超過」などが速度警告板に表示され、それを無視した違反車両をデジタルカメラで撮影します。

オービス

レーダー波（マイクロ波）を車両に当てて走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。
※カメラの向きにより画面は異なります。

LHシステム

車両が複数あるループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測して、違反車両をデジタルカメラで撮影します。

NHシステム

通行車両をデジタルカメラで撮影し、その写真画像のブレなどから走行速度を算出することで速度違反車両を特定します。現在このNHシステムはNシステムとは異なった目的での車両識別用監視カメラとして稼働していますが、将来的に速度取締りをおこなう可能性があります。

Nシステム

盗難車両の発見･自動車を使用した重要事件における犯人検挙のために利用する自動ナンバー読み取り装置です。

信号無視監視機

信号無視の取締まりを自動でおこないます。

トンネル内速度取締機

トンネル内に設置されている速度取締機を追跡警告します。

トンネル出口速度取締機

トンネル出口付近に設置されている速度取締機に対してトンネル内から追跡して警告します。

※画面は取締機の種類によって異なります。

各種 GPS 警告の種類と内容

制限速度切替りポイント

制限速度が切り替わる付近でお知らせします。また、制限速度よりも走行速度が速い場合は「スピードに注意してください。」とボイスアシストします。
※標準モードに設定されている場合は、制限速度が下がるポイントでのみお知らせします。

制限速度アップ
制限速度が上がるときに表示します。

制限速度ダウン
制限速度が下がるときに表示します。

警察署

緊急トラブルなどにも安心と安全運転をサポートするため、全国各地の警察署を登録しています。
※レーダー感度が「オート」に設定されている場合、取締りポイントへの警告開始から約120秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P34-P35

交通警察隊

※レーダー感度が「オート」に設定されている場合、取締りポイントへの警告開始から約120秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P34-P35

交通検問所

一般道では道路脇に設置されていますが、高速道では料金所脇の高速隊詰め所に併設される場合や、サービスエリアに設置されている場合もあります。道路から引き込み路があり、検問所が常設されています。
取締りは常時ではありませんが速度違反や飲酒検問、過積載などの取締りをおこなっています。その他にも交通規制時にも使用されています。
※レーダー感度が「オート」に設定されている場合、取締りポイントへの警告開始から約120秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P34-P35

過積載監視システム

路面に設置された重量測定用の踏み板と道路上方の監視カメラによって、トレーラーなどの大型車の重量オーバーを監視します。

駐車禁止（重点・最重点）エリア

本製品に登録されている 駐車禁止エリアは、公表されている取締活動ガイドライン、および当社独自調査により登録したものです。しがたって、駐車禁止の標識やその他標識の設置場所、駐車禁止の指定場所であってもお知らせしない場合があります。
駐車禁止エリア内ではディスプレイに マークを表示します。

参照 画面の見方▶ P21

事故多発エリア

警察庁、国土交通省の統計データにもとづき、全国各地の事故発生率が高いエリアを事故多発エリアとして登録しています。

待伏せエリア

白バイや覆面パトカーなどが交通違反車両を待ち伏せている可能性の高いエリアを、当社独自調査により登録したものです。
待伏せエリア内ではディスプレイに マークを表示します。

参照 画面の見方▶ P21

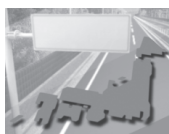
取締りポイント

全国各地（高速道、一般道）での追尾式取締り、または移動式取締りや検問がおこなわれていた目撃情報をもとに取締りがおこなわれている可能性の高いエリアを取締りポイントとして登録しています。取締りポイントの約1キロ手前でお知らせし、走行速度が一定の速度より速い場合には約500m手前で再度注意を促します。※レーダー感度が「オート」に設定されている場合、取締りポイントへの警告開始から約120秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P34-P35

盗難多発エリア

公表されている全国の盗難多発ポイントを登録しています。発生の多い時間帯で低速走行時にお知らせします。

県境アナウンス

高速道路の走行時に県境をお知らせします。

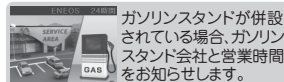
道の駅

全国の一般道に併設されている道の駅を登録しています。

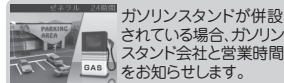
ハイウェイオアシス

全国の高速道路に併設されているハイウェイオアシスを登録しています。

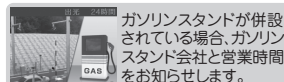
サービスエリア

全国の高速道路に併設されているサービスエリアを登録しています。

ガソリンスタンドが併設されている場合、ガソリンスタンド会社と営業時間をお知らせします。

パーキングエリア

全国の高速道路に併設されているパーキングエリアを登録しています。

ガソリンスタンドが併設されている場合、ガソリンスタンド会社と営業時間をお知らせします。

スマートインターチェンジ

高速道路にある、一部のサービスエリア、パーキングエリアに併設されているETC専用の出入り口です。

ガソリンスタンドが併設されている場合、ガソリンスタンド会社と営業時間をお知らせします。

凍結注意アナウンス

高速道路のトンネルや橋付近の凍結の注意が必要なポイントを登録しています。12月中旬～2月の冬季のみお知らせします。

急カーブ

急カーブがある場所をお知らせします。

※カーブの向き種類により画面が変わります。

トンネル入口案内

高速道路の全長1キロ以上のトンネルで入口付近の案内とヘッドライトの点灯を案内します。

※ヘッドライトの点灯案内は夜間はおこないません。

※トンネル入口案内は、有料道路、都市高速（首都高速、阪神高速など）では案内しません。

参照 トンネル案内▶ P46

トンネル出口案内

高速道路の全長1キロ以上のトンネルで出口付近の案内とヘッドライトの消し忘れを案内します。

※ヘッドライトの消灯案内は夜間はおこないません。

※トンネル出口案内は、有料道路、都市高速（首都高速、阪神高速など）では案内しません。

参照 トンネル案内▶ P46

トンネル内急加減速警告

高速道路の全長1キロ以上のトンネル内走行時に急加速、急減速を感じた場合に警告します。

※待受画面の状態で、音声にてお知らせします。

※トンネル内急加減速警告は、有料道路、都市高速（首都高速、阪神高速など）では警告しません。

・急加速を感じた場合

急加速しています。車間距離に注意してください。

・急減速を感じた場合

急減速しています。後続車両に注意してください。

参照 トンネル案内▶ P46

ユーザーメモリーセレクト

ユーザーメモリーセレクトで記録したポイントをユーザーメモリーとして案内します。1キロ先から3ステップで案内します。

※取締機として登録した場合、制限速度の案内はおこないません。

参照 ユーザーメモリーセレクト ▶ P40

GPSスポット追加機能

GPSスポット変換ツールで追加されたGPSスポットの約1キロ、500m手前で案内します。

※GPSスポット変換ツールを使用するには、Windowsパソコンとインターネット環境が必要になります。

参照 GPSスポット追加機能▶ P48

自宅案内

自車が自宅の約200m圏内に入ると案内します。

※事前に自宅を記録する必要があります。

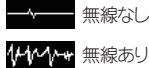
参照 自宅案内▶ P44

各種無線警告の種類と内容

無線受信の電波の強弱を黄色の線で表示します。

無線なし

無線あり

注意

・各種無線（350.1MHzを除く）を連続的に受信すると、自動的にディスプレイ表示のみの警告となります。

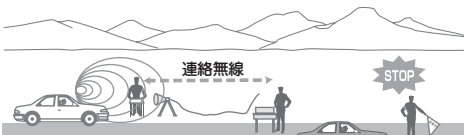
無線受信中、GPS案内になった場合、ツインウィンドウにて各種無線警告の案内をおこないます。

参照 レシーバーオートミュート機能 ▶ P45

参照 スキップ機能 ▶ P45

350.1MHz受信

速度取締り現場などで、測定係と停止係の間で使用される無線です。無線の会話を聞くことができます。

※350.1MHz無線の受信は、電波の状態などによって受信状態が変わります。デジタル通信の場合は音声を聞くことはできません。350.1MHz無線は常に取締りに使用されているわけではありません。本製品での受信は、無線が使用され電波が出ている場合に限ります。

警察デジタル無線

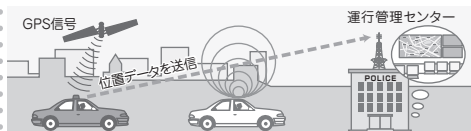
主に警察関係車両で本部との連絡用に使用されている無線です。

※警察デジタル無線は常に使用されているわけではありません。本製品での受信は無線が使用され、電波が出ている場合に限ります。

警察活動無線

主に機動隊で連絡用として使用される無線です。

カーロケーター受信

警察関係車両などに搭載され、GPS信号により算出された自車位置情報をセンターなどに送信するシステムです。カーロケーターを受信すると、受信電波の強弱に応じて緊迫状況かどうかを判断してお知らせします。

1回目の受信

※カーロケーターの感度が「ロー」に設定されている場合は、弱い電波の受信はできません。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P34-P35

ニアミスアラーム（連続受信）

連続して受信したときに、電波の強弱に応じて緊急状態であるかどうかをお知らせします。

※カーロケーターシステムの受信については導入されていない地域、またはシステムが変更されている地域では受信することができません。

※警察関連車両に追尾されていても、カーロケーターを受信しない場合があります。カーロケーターシステムは全ての警察関連車両に搭載されているわけではなく、また搭載されていても常時電波を発信しているわけではありません。一部地域ではシステムが異なる場合もあります。このような場合には警察関連車両の接近をお知らせすることができません。

※本製品のカーロケーター受信は407.725MHzのみ対応しております。これ以外の周波数やシステムの場合、警告をおこなうことができません。

署活系無線

警察署の管轄区域単位で使用する携帯無線で、警察署と警察官または警察官同士の通信手段として使用されている無線です。

ヘリテレ無線

事件や事故、またはヘリコプターを使った取締りなどの際に、ヘリコプターと地上間で使用される無線です。
無線の会話を聞くことができます。
※一部地域や一部のヘリコプターでは、ヘリテレ無線が導入されていないなどの理由により受信できない場合があります。

レッカー無線

駐車違反や事故処理などで、主に東京都内、兵庫県内、愛知県内の一部地域でレッカー業者が使用する無線です。無線の会話を聞くことができます。

※レッカー無線は簡易業務用無線のため、その他業種の無線も受信します。あらかじめご了承ください。
※お車の走行速度が約50km/h以上の場合、レッカー無線は受信しません。

消防無線

各消防署と消防関係車両などとの連絡に使用される無線です。

消防ヘリテレ無線

山林火災、水災・地震などの災害や地上からの把握が困難な高層建物火災の発生時に、ヘリコプターと地上間で使用される無線です。
※一部地域や一部のヘリコプターでは、ヘリテレ無線が導入されていないなどの理由により受信できない場合があります。

新救急無線

主に東京都内で使用される救急無線です。

取締特小無線

路上での取締り現場などで使用される無線です。

JH無線

旧 日本道路公団（JH）のパトロール車両と本部の間で使用される無線です。渋滞や工事・事故情報などの連絡に使用されています。
無線の会話を聞くことができます。
※デジタル通信の場合、会話を聞くことはできません。

警察電話

警察関連の自動車電話などで使用されています。

警備無線

全国の各警備会社で使用される無線です。

バリケードアラーム

検問などがおこなわれている可能性が高いと判断した場合に、専用のバリケードアラームでお知らせします。

各種レーダー警告の種類と内容

レーダー波受信レベルを紫色の線で表示します。

レーダー波なし

レーダー波あり

レーダー波を使用する速度取締機などへの接近をお知らせします。
レーダー受信中、GPS案内になった場合、ツインウィンドウにてレーダー波警告の案内をおこないます。

ツインウィンドウ

参照 レーダー波受信感度オート切替え ▶ P43

レーダー警告

レーダー波を受信するとディスプレイとアラームでお知らせします。また、レーダー波の強さに応じてアラームが変化します。（自動距離測定回路内蔵）

参照 BESTセレクト機能の設定一覧 ▶ P26〜P27

レーダー波が弱い ➡ レーダー波が強い

♪ピッ ・・・・ピッ・・・ピッ・・ピッ・・ピッ・ピッ・ピッピピピピピ

※レーダー警告がはじまってから約30秒後、警告音量が自動的に小さくなります。

ステルスアラーム

瞬時に強いレーダー波を受信すると、それをステルス波として識別し、ディスプレイとボイスアシストとアラームでお知らせします。

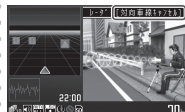
ステルスを受信しました。
♪ピロピロピロピロピロピロピロ…。

※ステルスアラームがはじまってから約10秒後、警告音量が自動的に小さくなります。

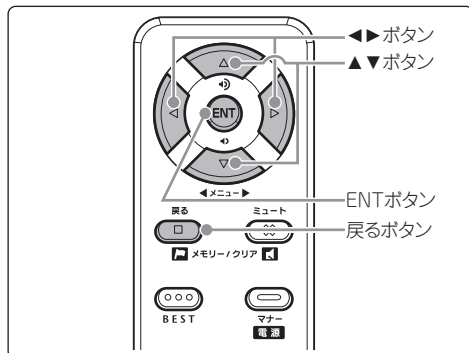
> ⚠ 注意
> ステルス波受信について
> ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上距離的余裕をもってお知らせできません。くれぐれも速度の出しすぎにはご注意ください。

対向車線レーダー警告オートキャンセル機能

レーダー波を使用した速度取締機が対向車線に設置されている場合、走行速度が制限速度以下のときはレーダー警告のアラームを自動的にキャンセルします。

参照 L.S.C.機能 ▶ P43

キャンセルされたことを表示します。

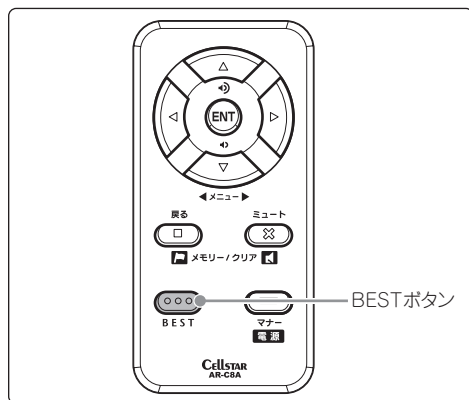
各種設定の操作方法

各種設定の操作方法

1 「▶ボタン」または「◀ボタン」を押して、設定メニューから変更する機能を選びます。
※「▶ボタン」または「◀ボタン」を長く押し続けると、選択する機能が順次切り替わります。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定内容を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して、設定を確定します。

4 引き続き他の機能の設定を変更する場合は、「▶ボタン」または「◀ボタン」を押して、機能を選びます。設定を終了して通常動作に戻る場合は、「戻るボタン」を押します。また何もボタンを押さなければ、約15 秒後に自動的に通常動作に戻ります。

BESTセレクト機能とは

簡単なワンタッチ操作だけで、各機能の設定を個々におこなう必要がない「オールモード」「標準モード」と、自由に設定変更ができる「マニュアルモード1」「マニュアルモード2」の4つを切り替えることができます。

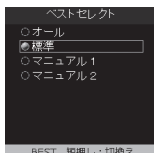
オールモード
全ての警告/案内がオンになります。

標準モード （工場出荷時の設定）
ベストセレクトされた機能がオンになっています。

マニュアルモード 1
初期設定が高速道向けに設定されています。
お好みに合わせて各種機能の設定を自由に変更することができます。

マニュアルモード 2
初期設定が一般道向けに設定されています。
お好みに合わせて各種機能の設定を自由に変更することができます。

BESTセレクト機能の切り替え

1 「BESTボタン」を押します。
現在の設定モードをお知らせします。

2 再度「BESTボタン」を押すと設定モードが切り替わります。押すたびに設定モードが切り替わります。

※「マニュアルモード1/2」から「標準モード」「オールモード」に切り替えても、マニュアルモードで個別に変更した設定内容は記憶されています。

3 数秒後、待受画面に戻ります。

設定チェック機能

1 「BESTボタン」を約1 秒間押し続けます。
「ベストセレクト○○」の後に、各機能の設定内容をボイスガイドとディスプレイでお知らせします。

※お知らせ中に、「BESTボタン」を押すと終了します。

BEST セレクト機能と設定一覧

各モードの設定内容 （マニュアルモードは初期設定の内容）

	オールモード	標準モード	マニュアルモード1	マニュアルモード2	設定項目の説明
取締機	オール	オール	ハイウェイ	シティ	オール ： 高速道路／一般道に対して警告を設定します。 ハイウェイ ： 高速道路に対して警告を設定します。 シティ ： 一般道に対して警告を設定します。
Nシステム 取締ポイント 待伏せエリア	オール	オール	ハイウェイ	シティ	オール ： 高速道路／一般道に対して警告を設定します。 ハイウェイ ： 高速道路に対して警告を設定します。 シティ ： 一般道に対して警告を設定します。 解除 ： 警告を設定しません。
制限速度切り替わり	オール	標準	標準	標準	オール ： 全てのポイントに対して警告を設定します。 標準 ： 制限速度が下がるポイントのみ警告を設定します。 解除 ： 警告を設定しません。
事故多発エリア 警察署	オール	解除	解除	解除	オール ： 高速道路／一般道に対して警告を設定します。 ハイウェイ ： 高速道路に対して警告を設定します。 シティ ： 一般道に対して警告を設定します。 解除 ： 警告を設定しません。
交通検問所 過積載取締機		オール	ハイウェイ	シティ	
急カーブ		解除	解除	解除	
駐車禁止エリア	設定	解除	解除	解除	設定 ： 警告や警告を設定します。 解除 ： 警告や案内を設定しません。
道の駅	オール	解除	解除	解除	オール ： 高速道路／一般道に対して警告を設定します。 ハイウェイ ： 高速道路に対して警告を設定します。 シティ ： 一般道に対して警告を設定します。 解除 ： 警告を設定しません。
サービス/パーキングエリア 県境アナウンス 凍結注意	設定	解除	解除	解除	設定（高速道）： 警告や案内を設定します。 解除 ： 警告や案内を設定しません。
盗難多発エリア	設定	解除	解除	解除	設定 ： 警告や案内を設定します。 解除 ： 警告や案内を設定しません。
レーダー感度	エクストラ	エクストラ	エクストラ	エクストラ	オート ： 走行速度に合わせて受信感度が自動で変化します。 エクストラ ： 受信感度を「高」に固定します。 ウルトラ ： 受信感度を「中」に固定します。 スーパー ： 受信感度を「低」に固定します。
L.S.C.	30キロ	30キロ	50キロ	30キロ	30キロ ： 時速30km/h以下のときに警告をミュートします。 40キロ ： 時速40km/h以下のときに警告をミュートします。 50キロ ： 時速50km/h以下のときに警告をミュートします。 60キロ ： 時速60km/h以下のときに警告をミュートします。 解除 ： LSCを設定しません。
カーロケ	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ	感度ハイ ： 受信感度を1キロ範囲に広げます。 感度ロー ： 受信感度を500mに範囲を狭めます。 解除 ： カーロケを設定しません。
350.1MHz デジタル無線	設定	設定	設定	設定	設定 ： 警告を設定します。 解除 ： 警告を設定しません。
警察活動無線 署活系無線 ヘリテレ無線 レッカー無線 消防無線 消防ヘリテレ 救急無線 取締特小 JH無線 警察電話 警備無線	設定	解除	解除	解除	設定 ： 警告を設定します。 解除 ： 警告を設定しません。

次のページに続く

※ （網掛け）の項目は変更できません。
※本製品の電源がオフになっても、各種設定は保存されています。また、マニュアルモードの設定内容も記憶されています。

	オールモード	標準モード	マニュアルモード1	マニュアルモード2	設定項目の説明
ロード自動選択 速度取締機カウントダウン	オフ	オフ	オフ	オフ	オン　：　警告を設定します。 オフ　：　警告を設定しません。
平均速度超過警告	オフ	オフ	オフ	オフ	オン　：　警告を設定します。 オフ　：　警告を設定しません。
画面 明るさ 昼間	3	3	3	3	1　：　ディスプレイの輝度を最大にします。 2　↓ 3　：　ディスプレイの輝度を標準にします。 4　↓ 5　：　ディスプレイの輝度を最小にします。
画面 明るさ 夜間	4	4	4	4	
全画面エリアビュー	オン	オン	オン	オン	オン　：　全画面モーションエリアビューの表示を設定します。 オフ　：　全画面モーションエリアビューの表示を設定しません。
警告表示	グラフィック警告	グラフィック警告	グラフィック警告	グラフィック警告	グラフィック警告　：　警告や案内の表示をグラフィックでおこないます。 文字警告　：　警告や案内の表示を文字でおこないます。
待受画面	時間 カレンダー	時間 カレンダー	時間 カレンダー	時間 カレンダー	時間 カレンダー　：　時間とカレンダーや各種情報を表示します。 エコグラフ1　：　エコ運転をグラフで表示します。 エコグラフ2　：　モーションエリアビューとエコグラフを表示します。 エコテキスト1　：　エコ運転を文字で表示します。 エコテキスト2　：　モーションエリアビューとエコテキストを表示します。 Gモニター1　：　車両にかかるGをグラフで表示します。 Gモニター2　：　モーションエリアビューとGモニターを表示します。 デジタルメーター1　：　自車速度をデジタルメーターで表示します。 デジタルメーター2　：　モーションエリアビューとデジタルメーターを表示します。 アナログメーター1　：　自車速度をアナログメーターで表示します。 アナログメーター2　：　モーションエリアビューとアナログメーターを表示します。 衛星情報1　：　測位しているGPS衛星の位置を表示します。 衛星情報2　：　モーションエリアビューと衛星情報を表示します。 オフ　：　待受画面を表示しません。
待受背景	1	1	1	1	1　：　パターン1の背景にします。 2　：　パターン2の背景にします。 3　：　パターン3の背景にします。 スライドショー：　microSDカードの画像をスライドショーで表示します。
スクリーンセーバー	オフ	オフ	オフ	オフ	標準　：　スクリーンセーバーを設定します。 スライドショー：　microSDカードの画像をスライドショーで表示します。 オフ　：　スクリーンセーバーを設定しません。
飲酒運転禁止 トンネル案内 安全運転アナウンス	オン	オン	オン	オン	オン　：　案内を設定します。 オフ　：　案内を設定しません。
日差し注意	オフ	オフ	オフ	オフ	オン　：　日差し注意を設定します。 オフ　：　日差し注意を設定しません。
速度アラーム	解除	解除	解除	解除	80キロ　：　自車速度が80km/hを超えた場合、警告します。 90キロ　：　自車速度が90km/hを超えた場合、警告します。 100キロ　：　自車速度が100km/hを超えた場合、警告します。 110キロ　：　自車速度が110km/hを超えた場合、警告します。 120キロ　：　自車速度が120km/hを超えた場合、警告します。 130キロ　：　自車速度が130km/hを超えた場合、警告します。 解除　：　警告の設定をおこないません。
速度アラーム音	アラーム1	アラーム1	アラーム1	アラーム1	アラーム1　：　パターン1でアラームします。 アラーム2　：　パターン2でアラームします。 アラーム3　：　パターン3でアラームします。 ボイス　：　ボイスでアラームします。
時報アナウンス	ボイス	ボイス	ボイス	ボイス	ボイス　：　ボイスでアナウンスします。 チャイム1　：　チャイム1でアナウンスします。 チャイム2　：　チャイム2でアナウンスします。 オフ　：　アナウンスをオフにします。
マイカー情報 （エンジン種別、走行燃費）	ガソリン、08.0	ガソリン、08.0	ガソリン、08.0	ガソリン、08.0	ガソリン　：　自車情報をガソリンにし、走行燃費を設定します。 ディーゼル　：　自車情報をディーゼルにし、走行燃費を設定します。
走行ログ	オフ	オフ	オフ	オフ	オン　：　走行ログを記録します。 オフ　：　走行ログを記録しません。

⚠ **注意**　設定が「標準モード」「オールモード」の場合、設定は固定されています。各機能の設定を個別に変更することはできません。
お好みの設定に変更する場合は、あらかじめ「マニュアルモード1」または「マニュアルモード2」に切り替えてください。

画面の設定

明るさの設定

ディスプレイの明るさを昼／夜それぞれ個別に、5段階に調節できます。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P34-P35

1 「◀ボタン」を押して「画面 明るさ 昼間」または「画面 明るさ 夜間」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

全画面モーションエリアビューのオン/オフ設定

取締機の手前 約3キロ ～ 約2キロで表示される全画面モーションエリアビューの表示／非表示を設定することができます。全画面モーションエリアビューをオフ（非表示）にした場合は、代わりに待受画面を表示します。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P34-P35

1 「◀ボタン」を押して「全画面エリアビュー」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

警告表示方法の設定

各種警告をお知らせする際、ディスプレイにはアニメーションが表示されますが、これを全て文字表示に切り替えることができます。警告表示よりも日付や時間などの待受画面を優先したいときに便利です。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P34-P35

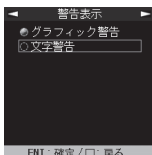
グラフィック警告

この領域に警告内容がアニメーションで表示されます。

文字警告

※文字警告の場合、全画面モーションエリアビュー表示をおこないません。

この領域に警告内容が文字で表示されます。

1 「◀ボタン」を押して「警告表示」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

オート・オールラウンドモニター（画面の自動回転）

Gセンサーがモニターの傾きを検知して、自動で画面を回転します。

※自動で画面が回転しない場合は、電源を入れなおしてください。

待受画面の選択

待受け状態のときに表示される画面を選ぶことができます。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P34-P35

1 「◀ボタン」を押して「待受画面」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

待受画面に表示されるデータは目安としてご使用ください。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

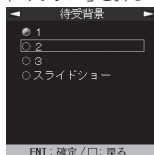
3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

時間 カレンダー / Gモニター1 / アナログメーター2 / エコグラフ1 / Gモニター2 / 衛星情報1 / エコグラフ2 / デジタルメーター1 / 衛星情報2 / エコテキスト1 / デジタルメーター2 / オフ / エコテキスト2 / アナログメーター1

待受背景の選択

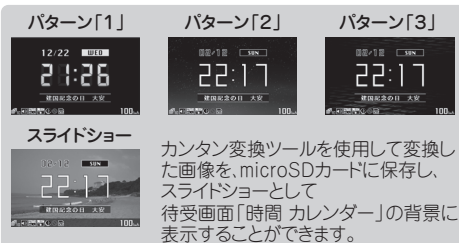
待受画面「時間 カレンダー」の背景の画像を、お好みのパターンや画像に変更することができます。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P34-P35

1 「◀ボタン」を押して「待受背景」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

パターン「1」 / パターン「2」 / パターン「3」

スライドショー

カンタン変換ツールを使用して変換した画像を、microSDカードに保存し、スライドショーとして待受画面「時間 カレンダー」の背景に表示することができます。

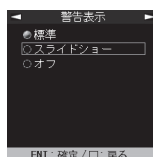
カンタン変換ツールについて詳しくは、以下のWebページをご覧ください。

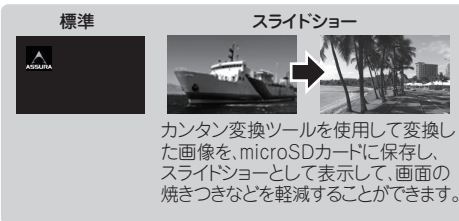
http://www.cellstar.co.jp/sdcard/

スクリーンセーバーの設定

待受け時間が約1分間経過すると、自動的に画面の焼きつきなどを軽減するスクリーンセーバー機能を実行します。

※工場出荷時は設定がオフになっています。

1 「◀ボタン」を押して「スクリーンセーバー」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P34-P35

標準 / スライドショー

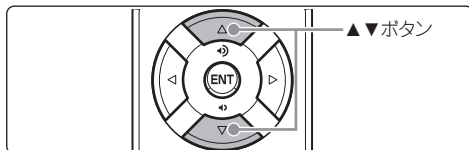
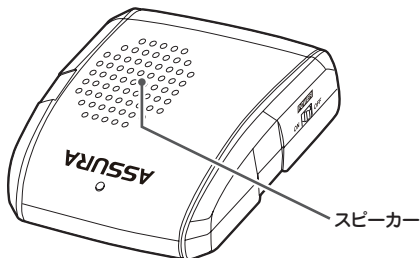
カンタン変換ツールを使用して変換した画像を、microSDカードに保存し、スライドショーとして表示して、画面の焼きつきなどを軽減することができます。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

音量の設定

音量の調節

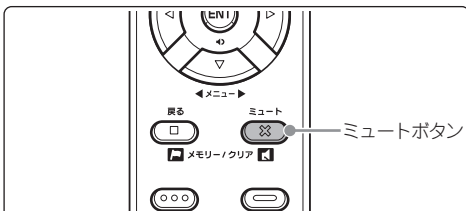
本製品のスピーカーから出力される音量を調整します。

1 「▲ボタン」または「▼ボタン」を押して音量を調整します。

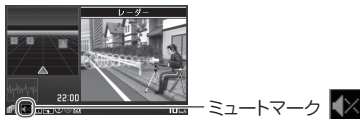
音量小　　　　　　　　　　　　　　　　音量大

2 数秒後、待受画面に戻ります。

警告音のミュート

レーダー警告中や各種無線受信動作中に、警告音をミュート(消音)します。

※ディスプレイによる表示はおこないます。GPS警告はミュートできません。

1 警告動作中に「ミュートボタン」を押します。ミュート中はディスプレイにミュートマークが表示されます。

ミュートマーク

各種無線を受信中の場合

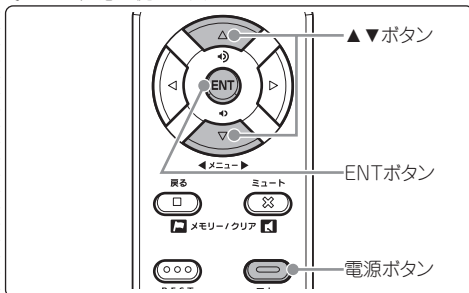
- ミュート中に約120秒間受信がなければ、ミュート機能は自動的に解除されます。
- ミュート中に再度受信した場合、約120秒間ミュート機能が延長されます。

レーダー警告中の場合

- ミュート中、レーダーの受信が無くなった時点で、ミュート機能は自動的に解除されます。

※ミュートの動作中に「ミュートボタン」を再度押すと、ミュートが解除されます。

マナーモード

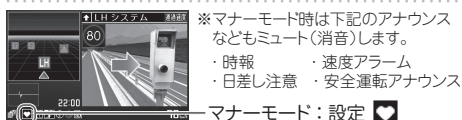
レーダー受信時/GPS 警告時/無線受信時にボイスアシスト(音声)と警告音を出力せず、メロディとディスプレイ表示だけで注意を促します。

1 「電源ボタン」を短押します。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

マナーモード：設定

※マナーモード時は下記のアナウンスなどもミュート(消音)します。

- 時報
- 速度アラーム
- 日差し注意
- 安全運転アナウンス

※設定変更をおこなわない場合、数秒後、待受画面に戻ります。

GPS を利用した機能の説明

GPS測位について

GPSを利用した機能を使用するために、GPSの測位確定が必要となります。本製品の電源が入ると、自動的にGPS測位が始まります。GPS測位が確定すると「♪ピンポン、GPSを測位しました。」とお知らせします。
また、GPSの信号が途切れた場合には、内蔵のGセンサーにより計測を一定区間補完して警告などをおこないます。

GPS測位状態の確認

ディスプレイで測位状態が確認できます。

アイコン	説明
	GPSとGセンサーで測位のときに表示
赤色表示	GPSとGセンサーが未測位のときに表示
G	Gセンサーで計測のときに表示

GPSアイコンの右下の数値は測位しているGPSの数です。

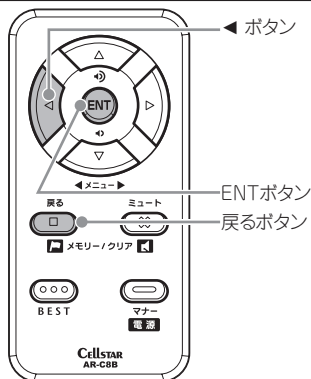
お買い求め頂いて、初めてお使いになる場合

- GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが(約15分程度)これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20 分以上かかる場合は電源を入れ直してください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPS測位しにくくなりますので、ご注意ください。
- GPS機能を使用するには、GPS測位中、またはGセンサーの計測中に限られます。
- 車内でTVの56chにチャンネルを設定していると、本製品のGPS測位ができなくなる場合があります。これは製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

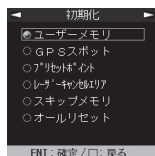
GPS警告ポイント消去機能

本製品に登録されているGPS警告ポイントを消去することができます。この機能を使用することで、取締機の撤去などに対応することができます。

GPS警告ポイントの消去方法

1 消去したいポイントのGPS警告動作中に「♪ピンポン」と鳴るまで「戻るボタン」を押し続けます。
その後、操作結果をボイスガイドでお知らせします。

GPS警告ポイント消去機能のリセット

GPS警告ポイント消去機能で消去したポイントを全てリセットします。
※ 個別での復帰はできません。一括での復帰となります。

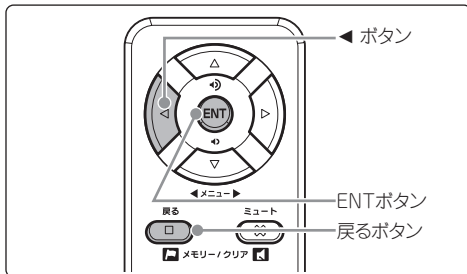
1 「◀ボタン」を押して「初期化」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

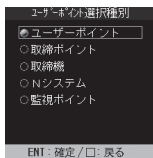
2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、「プリセットポイント」を選びます。
「プリセットポイント、プリセットポイント…」と繰り返しアナウンスされます。

3 「プリセットポイント消去しました」とアナウンスされるまで「ENT ボタン」を押し続けます。
これでGPS警告ポイントがリセットします。

GPS を利用した機能の説明

ユーザーメモリーセレクト

リモコンを使って、現在地のポイントを記録すると、ユーザーメモリーとして案内します。記録したポイントは1キロ先から3ステップで案内します。
※記録するには約1キロ以上走行している必要があります。
※100箇所を越えると、100箇所目のポイントに上書きします。

ユーザーメモリーの記録方法

1 記録したいポイントで「♪ピンポン」と鳴るまで「戻るボタン」を押し続けます。 ※記録に成功した場合、「ユーザーポイント選択種別」画面が表示します。

- **ユーザーポイント**
  ユーザーポイントとして記録します。
- **取締りポイント**
  取締りポイントとして記録します。
- **取締機**
  取締機として記録します。
- **Nシステム**
  Nシステムとして記録します。
- **監視ポイント**
  監視ポイントとして記録します。

※ポイントの種類を15秒間確定しない場合、ユーザーポイントとして記録されます。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、ポイントの種類を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して記録を確定します。

ユーザーポイントとして記録した場合

結　果	ボイスガイド
ポイント記録成功	ユーザーポイント記録しました。
ポイント記録失敗 (自車位置が計測できない)	♪ピンポン、GPSを測位できません。
ポイント記録失敗 (走行データなし)	ユーザーポイント記録できません。

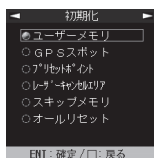
記録したポイントは、1キロ先から3ステップで案内します。

※制限速度の設定はできません。

ユーザーメモリーの個別の消去方法

1 設定したユーザーメモリーのGPS警告動作中に操作結果をボイスガイドでお知らせするまで「戻るボタン」を押し続けます。

ユーザーメモリーの全消去

1 「◀ボタン」を押して「初期化」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

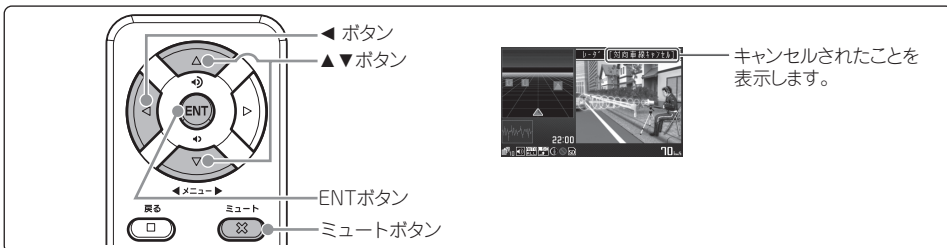
2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して「ユーザーメモリ」を選択します。
「ユーザーメモリー、ユーザーメモリー…」と繰り返しアナウンスされます。

3 「ユーザーメモリー消去しました」とアナウンスされるまで「ENT ボタン」を押し続けます。
これでユーザーメモリーが全て消去します。

注意 ユーザーメモリーは一度消去するとデータを復元することはできません。消去操作は十分に注意しておこなってください。

レーダーキャンセルメモリー機能

レーダー警告音が必要ないと思われるエリアをGPSを使って半径約200m圏内のレーダー警告音をキャンセル（消去）することができます。 ※最大で100箇所のポイントをキャンセルできます。

キャンセルされたことを表示します。

レーダーキャンセルエリアの記録

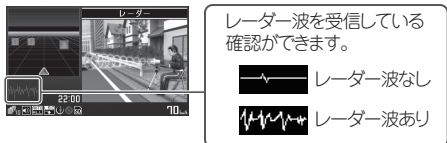
1 消去したいエリアでのレーダー警告中に「♪ピンポン」と鳴るまで「ミュートボタン」を押し続けます。
※GPS測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

結　果	ボイスガイド
エリア記録成功	♪ピンポン、レーダーキャンセルエリア記録しました。
エリア記録失敗（自車位置が計測できない）	♪ピンポン、GPS を測位できません。
エリア記録失敗（その他の理由）	♪ピンポン、レーダーキャンセルエリア記録できません。

レーダーキャンセルエリアの確認

レーダー波を受信している確認ができます。

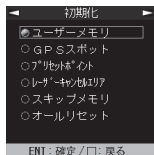
レーダー波なし

レーダー波あり

レーダーキャンセルエリアの個別消去

1 消去したいエリアでのレーダー警告中に「♪ピンポン」と鳴るまで「ミュートボタン」を押し続けます。
※GPS測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

レーダーキャンセルエリアの全消去

1 「◀ボタン」を押して「初期化」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、「レーダーキャンセルエリア」を選びます。
「レーダーキャンセルエリア、レーダーキャンセルエリア…」と繰り返しアナウンスされます。

3 「レーダーキャンセルエリア消去しました」とアナウンスされるまで「ENTボタン」を押し続けます。
これでレーダーキャンセルエリアが全消去します。

GPS を利用した機能の説明

ロード自動選択

現在走行している道路の種類(高速道/一般道)を弊社独自のデータから判別し、その道路に適したGPS警告をお知らせします。

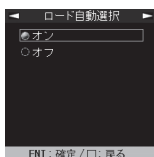
※現在の走行状態が一般道か高速道を走行中かを自動判断し、警告対象道路を自動で設定するため、走行状態によっては実際の状態と異なる設定となる場合があります。確実に警告を出したい場合には、ロード自動選択を「オフ」に設定してご使用ください。

ロード自動選択機能の設定

オン

走行している道路種に応じて表示が変わります。

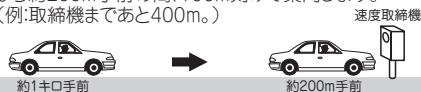
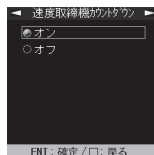
オフ　アイコンは表示されません。

1 「◀ボタン」を押して「ロード自動選択」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

速度取締機カウントダウン

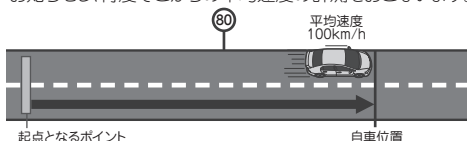
4ステップGPS警告時に、取締機までの距離約1キロ手前から約200m手前の間、100m刻みで案内します。
(例:取締機まであと400m。)

1 「◀ボタン」を押して「速度取締機カウントダウン」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

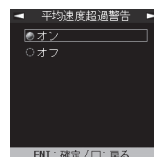
2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

平均速度超過警告

高速道や有料道路に弊社が独自に設定した計測ポイント間での平均速度を計測し走行している道路の法定速度から超過している場合、音声で警告します。
また、制限速度切替りポイントでは、そこまでの平均速度をお知らせし、再度そこからの平均速度の計測をおこないます。

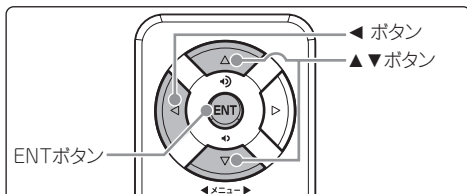
注意

・高速道でのみ測定します。
　高速道を降り、一般道を走行中、時速40キロを下回らない場合、一般道で案内することがあります。
・平均速度超過機能は、弊社が独自に設定した計測ポイントを時速40キロ以上で通過した場合に平均速度の計測を開始します。
・時速40キロを下回った場合、平均速度超過機能を終了し、そこまでの平均速度をお知らせします。

1 「◀ボタン」を押して「平均速度超過警告」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

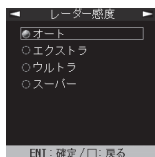
2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

レーダー波受信感度オート切替え

レーダー波の受信感度を、走行速度に合わせて、自動的に切り替えます。

お車の走行状態	受信感度
時速 約50 キロ以上	エクストラ ....(高感度)
時速 約50 ～ 30 キロ	ウルトラ ....(中感度)
時速 約30 キロ未満	スーパー ....(低感度)
走行速度が計測できない	エクストラ固定

(レーダー波受信感度の設定を変更するには、あらかじめマニュアルモード1/2に変更する必要があります。)

1 「◀ボタン」を押して「レーダー感度」を選びます。

・オート
走行速度に合わせて受信感度が自動的変化します。
・エクストラ
受信感度を「高」に固定します。
・ウルトラ
受信感度を「中」に固定します。
・スーパー
受信感度を「低」に固定します。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

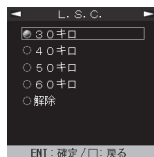
3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

L.S.C.機能

設定した速度以下の走行や停止時に、レーダー警告音を自動的にキャンセルします。

(レーダー波受信感度の設定を変更するには、あらかじめマニュアルモード1/2に変更する必要があります。)

1 「◀ボタン」を押して「L.S.C.」を選びます。

L. S. C.
30キロ
40キロ
50キロ
60キロ
解除
ENT：確定／□：戻る

・30キロ～60キロ
設定した速度以下のときに警告をミュートします。
・解除
L.S.C.設定をオフにします。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

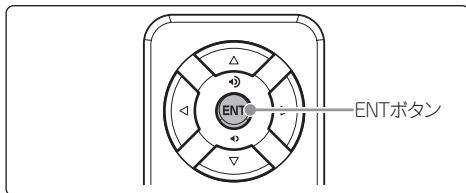
3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

GPS を利用した機能の説明

エリアタイムディマー機能

GPSの時刻情報を利用し、各地域での昼／夜／薄明時（朝または夕方）の時刻に応じてディスプレイと各ランプの明るさを自動的に調整します。

1キロ圏内サーチ機能

現在地から半径約1キロ圏内に速度取締機またはユーザーメモリーがあるかどうかを検索します。

1 「♪ピッ、サーチします。」とアナウンスされるまで「ENTボタン」を押し続けます。

2 ディスプレイとボイスガイドで結果をお知らせします。

結　果	ボイスガイド例
設置あり	♪ピンポン、1 キロ以内東名高速可変式ループコイルに注意してください。
設置なし	♪ピンポン、ポイント ありません。
自車位置を計測できない	♪ピンポン、GPS を測位できません。

※GPS測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

通過速度履歴確認機能

速度取締機を通過したときの通過速度をボイスアシストとディスプレイで確認することができます。

※確認できる通過速度は、最後に計測した通過速度1件のみとなります。
※本製品の電源が切れると通過速度履歴データは消去されます。
※トンネル内の速度取締機は、通過速度履歴の確認はできません。

1 「ENT ボタン」を押します。（短押し）
ディスプレイとボイスで前回の通過速度をお知らせします。

自宅案内

自宅を記録すると、自車が自宅の約200m圏内で案内します。

1 「◀ボタン」を押して「自宅」を選びます。

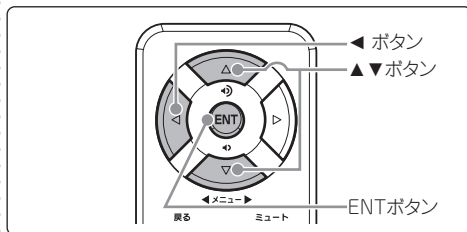
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、記録または消去を選びます。

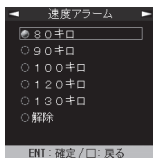
3 「ENTボタン」を押して記録または消去します。

※消去を選択すると、自宅のポイントが消去されます。

速度アラーム機能

走行速度があらかじめ設定しておいた上限速度を超えたときにボイスまたはアラームで警告します。

上限速度の設定方法

上限速度として80km/h、90km/h、100km/h、110km/h、120km/h、130km/h のいずれかを選択できます。
速度アラーム機能をオフにするには「解除」を選択します。
※マナーモード中はお知らせしません。

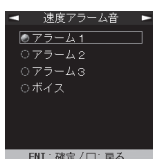
1 「◀ボタン」を押して「速度アラーム」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定したい速度または解除を選びます。

3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

速度アラーム音の設定方法

警告時に流れる音声はボイスガイドと3 種類のアラーム音から選ぶことができます。

1 「◀ボタン」を押して「速度アラーム音」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

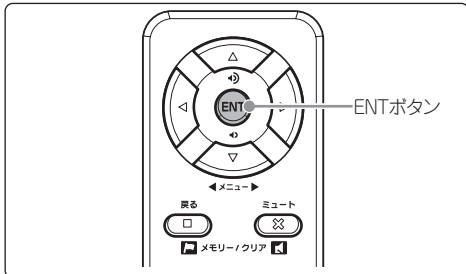
2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定したいアラー音またはボイスを選びます。

3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

その他の機能の説明

スキップ機能

ワンスキップの設定

受信中の無線を一回だけスキップ（強制終了）することができます。

1 無線を受信中に「ENT ボタン」を押します。
「♪ピッ」と鳴り、警告表示や受信音を強制終了します。

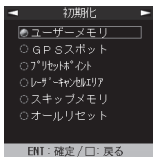
スキップメモリーの設定

各種無線のうち、特定のチャンネルを最大253チャンネル記録し、スキップ（受信拒否）し続けることができます。
※カーロケと350.1MHzはスキップできません。

1 スキップしたい無線の受信警告動作中に「BESTボタン」を約1秒間押し続けます。
操作結果をボイスガイドでお知らせします。

※電源をオフにしても、記録されたスキップメモリーは保持されます。

スキップメモリーの全消去

1 「◀ボタン」を押して「初期化」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、「スキップメモリ」を選びます。
「スキップメモリー、スキップメモリー…」と繰り返しアナウンスされます。

3 「スキップメモリー消去しました」とアナウンスされるまで「ENT ボタン」を押し続けます。
これでスキップメモリーが全て消去されます。

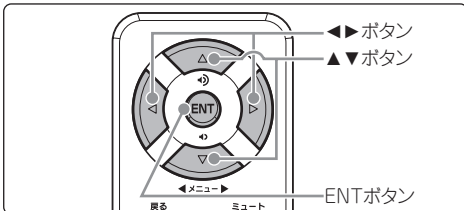
オートトーンダウン機能

レーダー警告が始まってから約30秒後、またはステルスアラームが始まってから約10秒後に、警告音量が自動的に小さくなります。
※設定は不要です。

レシーバーオートミュート機能

同じ無線を連続して受信すると、自動的に警告音やボイスアシストをミュート（消音）します。
※350.1MHzはミュートされません。
※ディスプレイによる表示はおこないます。
※設定は不要です。

マイカー情報登録

マイカー情報を登録することで、待受画面のエコテキストに表示されるCO_2排出量をより正確に知ることができます。

1 「◀ボタン」を押して「マイカー情報」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、「ガソリン」または「ディーゼル」を選びます。
1リッターあたりの平均燃費を入力します。
数値の桁移動は「◀ボタン」または「▶ボタン」でおこないます。

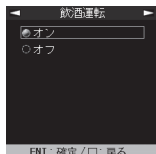
数値の変更は「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押します。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。
これでマイカー情報が設定されます。

その他の機能の説明

飲酒運転警告機能

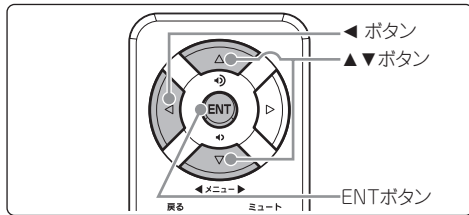
本製品の電源を入れたときに表示されるオープニング画面で、飲酒運転を警告します。
※夜間に限ります。

1 「◀ボタン」を押して「飲酒運転禁止」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

日差し注意

太陽の位置が低いため運転時に日光がまぶしく感じる朝と夕方に、ボイスガイドで注意を促します。

1 「◀ボタン」を押して「日差し注意」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

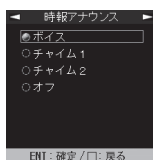
2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

※マナーモード中はお知らせしません。
※日差し注意機能は実際の天候にかかわらずお知らせします。

時報アナウンス機能

毎正時に時刻をボイスガイドまたはチャイム音でお知らせします。

1 「◀ボタン」を押して「時報アナウンス」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

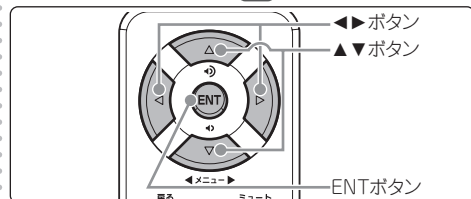
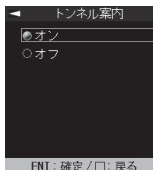
※マナーモード中はお知らせしません。

トンネル案内

高速道路の全長1キロ以上のトンネルで安全運転に向けた3つのアドバイスをおこないます。

トンネル入口案内　トンネル出口案内　トンネル内急加減速警告

※個別のオン／オフの設定はできません。
※トンネル案内は、有料道路、都市高速（首都高速、阪神高速など）では警告、案内しません。

参照 各種GPS警告の種類と内容▶ P29

1 「◀ボタン」を押して「トンネル案内」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

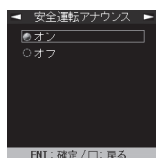
安全運転アナウンス

ボイスガイドで安全運転に向けた3つのアドバイスをお知らせします。

長時間運転休憩案内　長距離走行案内　ヘッドライト点灯案内

※個別のオン／オフの設定はできません。

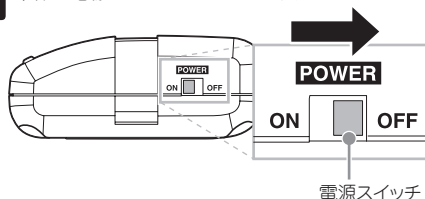
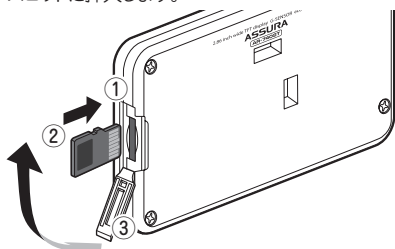
結　果	ボイスガイド
本機の電源が入ってから2 時間経過	♪、2 時間が経過しました。休憩しましょう。 ※以降、2 時間ごとにアナウンスします。
本機の電源が入ってから100km経過	♪、走行距離が100キロを越えました。 ※以降、100kmごとに最大1000kmまで加算してアナウンスします。
日没時刻	♪、ヘッドライトの点灯を確認してください。

1 「◀ボタン」を押して「安全運転アナウンス」を選びます。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

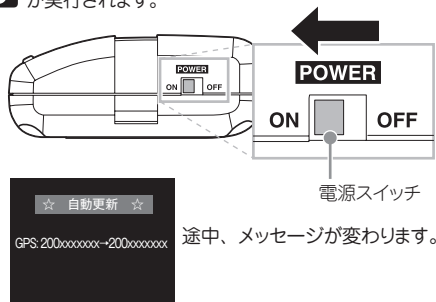
3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

GPSデータ更新

microSDカードを使用してGPSデータの更新をおこないます。詳しくは専用サイトを参照してください。
（http://www.cellstar.co.jp/sdcard/）

1 本体の電源スイッチをOFFにします。

2 GPS更新データを入れたmicroSDカードをmicroSDスロットに挿入します。

3 本体の電源をONにすると自動的にGPSデータ更新が実行されます。

☆ 自動更新 ☆

GPS: 200xxxxxxx→200xxxxxxx

途中、メッセージが変わります。

4 データ更新が成功したら自動的に再起動します。
※データ更新中、電源がOFFにならないようご注意ください。

右の画面が表示されデータ更新が止まった場合、
再度手順1からデータ更新をおこなってください。

5 GPS更新データが入っているmicroSDカードを取り出します。これでGPSデータ更新は完了です。

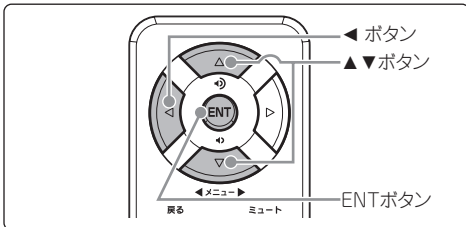
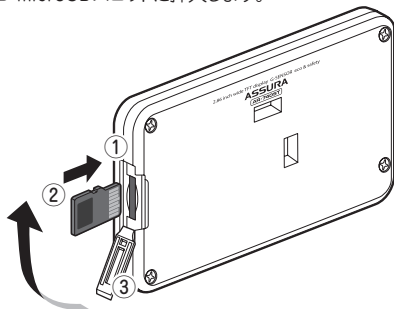
その他の機能の説明

GPSスポット追加機能

登録したい場所（緯度経度、種別）をGPSスポット変換ツール（無料）を使ってGPSデータに変換することができます。
出来たGPSデータは、microSDカードにコピーし、インポートすることでGPSスポットとして追加することができます。
※GPSスポット変換ツールは、専用サイトからダウンロードできます。使用方法は、ツールに付属している説明書をお読みください。

専用サイト： http://www.cellstar.co.jp/sdcard/

免責事項 本サービスは、弊社の都合により将来予告なくを終了または内容を変更する可能性があります。また、ダウンロードしたソフトにつきましては、万一利用者に何らかの損害が生じても誠に勝手ながら弊社は責任を負わないものとさせていただきます。
あくまで利用者個人の責任においてご活用くださいますよう、お願い申します。

動作環境 詳細な動作環境は専用サイトを参照してください。

1 GPSスポットのデータを入れたmicroSDカードをmicroSDスロットに挿入します。

2 「◀ボタン」を押して「GPSスポット」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

3 「ENTボタン」を押してGPSスポットをインポートします。GPSデータの更新に成功すると以下の画面が表示されます。

GPSデータの更新に失敗した場合、下の画面が表示されます。専用サイト内の説明をよく読み再度、データ更新をおこなってください。

データ更新
失敗

4 追加されたGPSスポットの約1キロ、500m手前で案内します。

インポートの終了後はmicroSDカードを抜いても案内することができます。

走行ログ記録

走行ログ（NMEA準拠フォーマット）を内部メモリー※に記録し、microSDカードに転送することができます。
作成したデータは、市販の地図ソフトを使って、地図上に走行経路を表示することができます。
※内部メモリーに約9時間記録（約1Mバイト）できます。アイドリング中のデータは、圧縮されます。

走行ログの記録を開始する

1 「◀ボタン」を押して「走行ログ」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

- **オン**
  走行ログを記録します。
- **オフ**
  走行ログを記録しません。

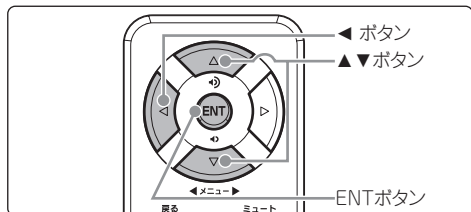
走行ログをmicroSDカードに転送する

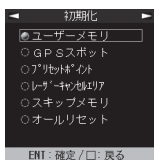
1 「◀ボタン」を押して「走行ログ転送」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

- **転送**
  内部メモリーに記録されている走行ログをmicroSDカードに転送します。
- **消去**
  内部メモリーに記録されている走行ログを消去します。

2 「ENTボタン」を押して走行ログを転送します。

本製品の全リセット

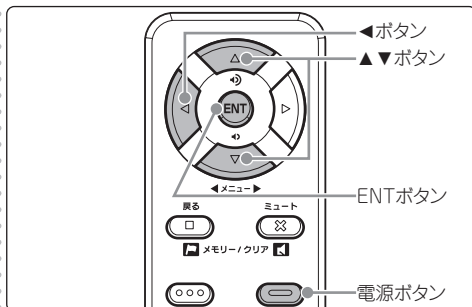
この操作をおこなうと、各設定や記録内容は全て消去され、工場出荷時状態に戻ります。

⚠ 注意　全リセットをおこなうと、各設定や記録内容を復帰させることはできません。リセット操作は十分に注意しておこなってください。

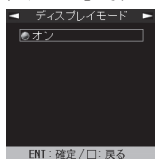
1　「◀ボタン」を押して「初期化」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

2　「▼ ボタン」または「▲ボタン」を押して、「オールリセット」を選びます。「オールリセット、オールリセット…」と繰り返しアナウンスされます

3　「オールリセット完了しました」とアナウンスされるまで「ENTボタン」を押し続けます。
これで全リセットが完了します。

ディスプレイモード

本製品のデモを表示するディスプレイモードになります。
ディスプレイモード中は、本製品の機能が全て無効になりますのでご注意ください。

ディスプレイモードの開始

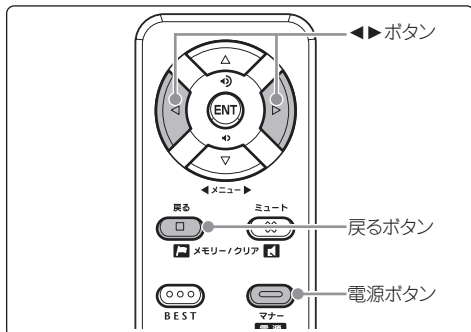
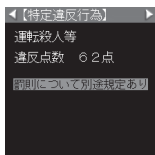
1　「◀ボタン」を押して「ディスプレイモード」を選びます。

※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

2　「ENTボタン」を押すとディスプレイモードになります。
画面と音声によるデモをおこないます。

ディスプレイモードの解除

1　ディスプレイモード中に、「電源ボタン」を3秒以上押し続けます。これでディスプレイモードが解除されました。

反則金データベース表示機能

交通違反の際に課せられる反則金や反則点数をディスプレイに表示します。違反内容によっていくら反則金が課せられるか、または何点反則点数が加算されるかを調べるのに便利です。

1　「電源ボタン」を約1 秒間押し続けます。
ディスプレイに反則金データベースが表示されます。

2　「▶ボタン」または「◀ボタン」を押して、表示内容を切り替えます。違反点数の大きい順に画面が切り替わります。

3　通常の画面に戻る場合は「戻るボタン」を押します。

※表示内容は2009 年 6月現在のものです。
※全ての交通違反は登録されていません。

故障かな?と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

電源が入らない
・DC12Vまたは24Vが入力されていますか。
・本体とDCコードが外れていませんか。
参照 電源の取り方▶ P16-P17

機能の設定ができない
・「マニュアルモード」に設定されていますか。
参照 BESTセレクト機能とは▶ P33

GPS信号を受信しない
・GPS信号は受信可能ですか。
参照 GPS測位について▶ P39

速度取締機の警告をしない
・GPS信号は受信可能ですか。
参照 GPS測位について▶ P39
・登録されていない速度取締機の可能性があります。
・取締機の設定が「ハイウェイ」または「シティ」になっていませんか。
参照 ロード自動選択について▶ P42
・GPS警告ポイント消去機能が設定されていませんか。
参照 GPS警告ポイント消去機能▶ P39

GPS警告をしない
・設定が「解除」になっていませんか。
参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P34-P35
・登録されていないポイント(エリア)の可能性があります。
・ロード自動選択機能が「オン」になっていませんか。
参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P34-P35

制限速度切替りポイントのGPS警告をしない
・制限速度切替りポイントの設定が「標準」で制限速度の上がる地点で警告しない設定になっていませんか。
参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P34-P35

何もないのにレーダー警告音が鳴る
・速度取締機と同じ電波を他の機器でも使用されています。その場合、レーダー警告を出す場合があります。これは故障ではありません。あらかじめご了承ください。

ー同じ電波を使用している機器例ー
・自動ドアの一部 ・車両通過計測器 ・NTTの通信回線の一部
・気象用、航空機用などのレーダーの一部

ー対処療法ー
レーダーキャンセルメモリー機能
参照 レーダーキャンセルメモリー機能▶ P41

ユーザーメモリーをお知らせしない
・ポイントは記録されましたか。
・反対方向などから走行していませんか。
参照 ユーザーメモリーセレクト▶ P40

L.S.C. 機能が働かない
・L.S.C. 機能は「解除」になっていませんか。
参照 L.S.C.機能▶ P43

ディスプレイの中に小さな黒い点や輝点がある
・ディスプレイ特有の現象であり、故障ではありません。

ディスプレイに表示跡や色むらがある
・ディスプレイの特性によるものです。不良や故障ではありません。

無線を受信しない
・各種無線の設定が「解除」になっていませんか。
・無線は常に発信されているわけではありません。
参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P34-P35

カーロケーターを受信しない
・カーロケの設定が「解除」になっていませんか。
・カーロケーターシステムを搭載していない車両の可能性があります。
・カーロケーターシステムが導入されていない地域の可能性があります。
参照 カーロケーター受信▶ P30

350.1MHzの音声が聞こえない
・デジタル通信の場合、音声を聞くことはできません。
・350.1MHzの受信電波が弱いと、音声が聞こえない場合があります。
参照 350.1MH受信▶ P30

レッカー無線を受信しない
・レッカー無線の設定が「解除」になっていませんか。
・本製品搭載のレッカー無線チャンネルは、主に東京都、兵庫県、愛知県内の一部地域で使用されているものです。レッカー無線を搭載していない車両の可能性があります。
・走行速度が約50km/h 以上で走行していませんか。
参照 レッカー無線▶ P31

レッカー無線以外の業務無線を受信する
・レッカー無線は簡易業務無線のため、その他業種の無線も受信します。
参照 レッカー無線▶ P31

各種無線を受信したままになる
・お車からの影響や、周囲の状況により受信したままになる場合があります。

ー対処方法ー
・ワンスキップ　・スキップメモリー
参照 スキップ機能▶ P45

自動的にいろいろな警告や案内を繰り返す
・ディスプレイモードの設定が「オン」になっていませんか。
参照 ディスプレイモード▶ P49

モニターを傾けているのに画面が自動回転しない
+30度〜ー30度の範囲でモニターを取り付けていますか。また自動で画面が回転しない場合は、電源を入れなおしてください。
参照 本製品の取り付け方法▶ P14

アフターサービスについて

保証書について

保証書(別途添付)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間です。

修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

⚠ 修理・点検を依頼される場合の注意

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データ等は全て消去されます。あらかじめご了承ください。

保証期間中のとき

(保証書に販売店名、日付印がないと無効になります)

恐れ入りますが、お買い上げの販売店まで、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定にしたがって修理いたします。

- ディスプレイの中に小さな黒い点や輝点が出ても、保証対象になりません。
- 焼き付けや色むらなどによるディスプレイの修理は保証対象になりません。

保証期間が過ぎているとき

お買い上げの販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

リモコンの紛失について

万一リモコンを紛失された場合は、お買い求めになった販売店までご依頼ください。

個人情報に関して

本製品に対するお問い合わせ、修理などを依頼される場合の個人情報の利用目的について

1. 当社製品・サービスなどに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
2. 製品の企画、開発、販売促進、営業活動に、お客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

当社でのお客様の個人情報取扱いについては当社ホームページでご確認いただけます。
http://www.cellstar.co.jp/

GPSデータの更新について

本製品は速度取締機、取締りポイントなどの位置データを使用して製造をおこなっています。その後、速度取締機などの新設や変更などがあった場合、その内容を反映させたデータを1年に2回を目安として更新用データを作成しております。また、更新用データの作成につきましては、製品の仕様や更新用データの都合などにより、更新用データの作成を終了させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

データ更新は選べる3プラン[入会金・年会費不要]

ダウンロードお家で更新プラン

パソコンを使用して更新データをダウンロードします。

1 ダウンロード　**¥2,100(税込)**

専用サイト(http://www.cellstar.co.jp/sdcard/)にアクセスします。手順にしたがってmicroSDカードにコピーします。(市販のカードリーダー/ライターなどをご利用ください。)

microSDカードは別売です。

専用サイトの説明、注意事項をよく読み、手順にしたがってGPSデータを更新します。

microSDカード購入ラクラク更新プラン

更新用データ入りカードを弊社お客様相談窓口または販売店で購入します。

1 枚　**¥4,725(税込)**

送って更新プラン

製品を弊社に送っていただき弊社で更新を実施します。

1 回　**¥5,250(税込)**

お買い求めになった販売店、弊社お客様相談窓口までご依頼ください。また、データ更新作業の際に工場出荷状態に戻ってしまう場合があります。あらかじめご了承ください。

※プランによっては、別途送料が必要です。

※お客様所有のmicroSDカード(記憶媒体)へのデータ書き込みサービスは一切おこなっておりません。

仕様・定格

■アンテナ
●GPS受信部
受信方式　:12ch　パラレル受信
受信周波数　:1575.42MHz
●レーダー受信部
受信方式　:ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信周波数　:Xバンド、Kバンド
●動作温度範囲　:−10℃〜+65℃
●サイズ　:52(W)X48(D)X25(H)mm
●コード長　:3.5m
■本体
●レシーバー部
受信方式　:ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信周波数　:UHF330〜470MHz　VHF154〜162MHz
●電源電圧　:DC12V/24V
●動作温度範囲　:−10℃〜+65℃
●サイズ　:66(W)X59(D)X24(H)mm

■モニター
●動作温度範囲　:−10℃〜+65℃
●サイズ　:95.7(W)X10.3(D)X53.7(H)mm
●表示部　:IPS液晶
●コード長　:1.5m
■リモコン
●使用電池　:リチウム電池　CR2032X1
●動作温度範囲　:−10℃〜+65℃
●サイズ　:32(W)X13(D)X66(H)mm

※改良などのため、本製品の仕様・定格などを変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※本書記載の画面表示は実際の表示と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※本書記載の警告時などの表示画面はグラフィック警告の場合のものです。

新設速度取締機、Nシステム、取締りポイントの情報提供のお願い

本製品でお知らせできない新設された速度取締機、Nシステムの情報や高速道、一般道に関わらず有人取締りが頻繁におこなわれるエリア、追尾取締りや検問などの目撃情報がございましたら、当社カスタマーサービスまたは、e-メールなどでお知らせ頂いただけますようお願いいたします。

カスタマーサービス 0120-75-6867
(携帯電話・PHS よりおかけの方は、TEL. 046-275-6867)
e- メール：ranavi@cellstar.co.jp
ホームページ：www.cellstar.co.jp

※携帯電話などからe-メールでの情報提供をしていただき、返信メールをご希望される場合には、パソコンからのメールを受信できる状態、または、cellstar.co.jp をドメイン指定してください。詳しい設定方法については、お使いの携帯電話会社へお問い合わせください。

GPSデータ　約21,700件、36種類	
取締りポイント	約3,670箇所
速度取締機(8種類) NHシステム、LHシステム、 ループコイル、新Hシステム、 オービス、可変式、 トンネル出口、トンネル内	約700箇所
オービス制限速度	約700箇所
Nシステム	約2,180箇所
制限速度切替りポイント	約1,020箇所
事故多発エリア	約1,740箇所
駐車禁止(重点・最重点)エリア	約940箇所
その他	

各地域のお客様相談窓口一覧

■北海道地区　北海道セルスター工業株式会社
〒004-0843 札幌市清田区清田三条1-3-1
TEL.011-882-1225(代)
FAX.011-881-7251

■東北地区　セルスター工業(株)仙台営業所
〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田158
TEL.022-218-1100(代)
FAX.022-218-1110

■関東地区　セルスター工業(株)関東営業所
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32
TEL.046-273-1100(代)
FAX.046-273-1106

■セルスター工業株式会社　カスタマーサービス
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32
フリーダイヤル　0120-75-6867
TEL.046-273-1100(代)

■中部・北陸地区　中部セルスター工業株式会社
〒463-0021 愛知県名古屋市守山区大森4-1002
TEL.052-798-6325(代)
FAX.052-798-6315

■関西・中国・四国地区　関西セルスター工業株式会社
〒562-0004 大阪府箕面市牧落3-8-7
TEL.072-722-1880(代)
FAX.072-722-5575

■九州地区　九州セルスター工業株式会社
〒811-1347 福岡県福岡市南区野多目1-11-8
TEL.092-552-5252(代)
FAX.092-552-5300

名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

全国自動車用品工業会会員　http://www.cellstar.co.jp
CELLSTAR® セルスター工業株式会社
PP-D339MN-A 2009.7